

第5章 生涯学習

- 第1節 生涯学習の推進
- 第2節 社会教育の推進
- 第3節 青少年教育
- 第4節 成人教育
- 第5節 視聴覚教育
- 第6節 宮城県図書館
- 第7節 宮城県松島自然の家
- 第8節 宮城県蔵王自然の家
- 第9節 宮城県志津川自然の家

第1節 生涯学習の推進

社会環境の急激な変化の中にあつて、県民一人ひとりが、自己の充実や生活の向上と望ましい地域社会の形成を目指し、生涯にわたっていつでも必要な学習ができるように、生涯学習の視点から社会の各種学習機能を総合的に整備充実し、支援者を養成するとともに、学習の機会を提供することが重要な課題である。

このため、本年度は生涯学習推進の一環として次の事業を行った。

1 第三次宮城県生涯学習振興計画の推進

平成18年3月に策定した「第三次宮城県生涯学習振興計画」に基づき、県民の主体的な学習活動を支援し、生涯学習環境の充実に努めた。

2 みやぎ県民大学推進事業

(1) 高等学校・専門施設・大学開放講座、自主企画講座

県民の多様な学習要求にこたえるため、高等学校、専門施設、大学、NPO団体等の持つ専門的教育機能を活用して、一般教養・専門的知識・技能などの学習機会の提供に努めた。(第5-1表)

第5-1表 平成21年度みやぎ県民大学学校等開放講座開催状況

高等学校開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
農業高等学校	農業高校生と農業を体験しませんか!	6/27 ~ 11/2	6	21
工業高等学校	親子で表札づくり～金属を溶かしてみませんか? 鋳造体験～	8/17 ~ 8/19	3	10
黒川高等学校	野菜, 草花, キノコで楽しもう講座	6/27 ~ 11/21	5	25
宮城広瀬高等学校	書道(篆刻を楽しもう)	7/4 ~ 7/25	4	5
亘理高等学校	オリジナルムービーを作ろう～簡単にできる動画編集入門～	12/5 ~ 12/26	4	3
貞山高等学校	簿記検定3級を取ろう	9/2 ~ 11/18	10	47
利府高等学校	スポーツ医学からみた効果的な健康づくり	4/15 ~ 2/17	25	17
蔵王高等学校	自分発見!～大人のストレッチ入門編～	9/19	1	6
白石工業高等学校	世界で一つだけの文鎮制作～金属の加工～	10/4 ~ 10/25	3	7
大河原商業高等学校	やさしいパソコン講座	8/3 ~ 8/6	4	35
柴田農林高等学校	食の安心・安全と農業のあり方を考える	6/27 ~ 9/12	3	20
伊具高等学校	農業高校体験講座	5/16 ~ 10/3	4	24
石巻工業高等学校	地域の実験室「化学の世界」	8/4 ~ 8/6	3	8
水産高等学校	宮城の海・船・魚を学ぶ パートX I	6/27 ~ 7/18	3	5
河南高等学校	園芸教室～草花寄せ植えプランターを作ろう～	7/18 ~ 11/7	4	28
東松島高等学校	人生の歩みを振り返る～自分史年表作り～	9/26 ~ 11/7	3	4
東松島高等学校	オリジナル陶器の制作～全工程を自分の手で～	9/26 ~ 10/31	5	14
東松島高等学校	心をもてなすスイーツコーディネート3	9/5 ~ 10/17	4	20
古川高等学校	親子で楽しむ食生活	8/1 ~ 10/31	4	8
古川工業高等学校	化学技術の世界にふれてみませんか?	7/4 ~ 7/19	3	25
松山高等学校	家庭科を体験してみませんか?～手作りでお生活を楽しく～	7/4 ~ 7/25	4	13
加美農業高等学校	休日の畑遊び4	6/6 ~ 10/31	6	19
小牛田農林高等学校	森林体験をしませんか?～秋の里山を満喫しよう～	10/17	1	44
南郷高等学校	農業にチャレンジしよう	5/30 ~ 10/24	4	20
鹿島台商業高等学校	初歩から学ぶIT	7/28 ~ 7/31	4	4
迫桜高等学校	パソコンソフト入門(ワード・エクセル入門)	8/4 ~ 8/7	4	17
迫桜高等学校	かたちを見つめて～美術・デッサン～	7/30 ~ 7/31	2	5
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(初級コース)	8/22 ~ 9/26	5	24
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(中級コース)	10/10 ~ 11/7	5	24
気仙沼西高等学校	ふれあいパソコン教室	8/5 ~ 8/7	3	19
視覚支援学校	楽しくしっかり学べるパソコン点訳講座	7/22 ~ 7/24	3	8

(27高等学校31講座)

(計529人)

専門施設開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
宮城県志津川自然の家	生き生きゆとりライフ	9/22 ~ 11/14	4	11
宮城県松島自然の家	秋の奥松島ウォーキングI	10/7 ~ 10/14	2	34
宮城県松島自然の家	秋の奥松島ウォーキングII	10/21 ~ 10/28	2	12
宮城県図書館	叡智の杜を訪ねて	11/7 ~ 11/28	4	69
宮城県美術館	宮城県美術館コレクション散歩「創造の発酵素」	6/28 ~ 7/19	4	102

(4施設5講座)

(計228人)

大学開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
東北大学大学院文学研究科	人間理解の方法～文・史・哲・心、それぞれの流儀～	9/14 ～ 9/19	6	47
東北大学大学院歯学研究所	最先端生体材料による修復、再生歯科医療	9/5 ～ 10/3	5	39
東北大学大学院農学研究所	健康と長寿を支えるさまざまな食べ物	8/27 ～ 9/24	5	77
東北大学大学院環境科学研究所	環境問題への物質・材料の役割	6/12 ～ 7/3	4	34
東北大学金属材料研究所	地球にやさしいエネルギーとエコ材料～太陽電池から水素まで～	7/29 ～ 8/26	4	34
東北大学多元物質科学研究所	電子が決めるモノの性質～見えない電子の世界を見る～	11/6 ～ 11/27	4	31
東北大学流体科学研究所	ながれ～プラズマ・原子・飛行機・地下・血液～	8/28 ～ 9/25	5	48
宮城教育大学	能と日本文化	9/19 ～ 10/17	5	78
東北福祉大学	幕政と藩政	10/1 ～ 10/29	5	49
宮城学院女子大学	自給自足の循環型社会～江戸時代に学ぶ	11/12 ～ 11/26	3	35
尚綱学院大学	みんなで語り合う「教育の未来Ⅱ」	10/8 ～ 10/22	3	55
仙台大学	ちょこっと運動プログラム	7/3 ～ 7/24	4	111
仙台大学	歴史と文化を旅する	7/15 ～ 7/29	3	53
仙台大学	日米の比較論	7/14 ～ 7/21	2	33
石巻専修大学	未来予想図～これからの世界、そして日本～	5/14 ～ 7/30	12	168
宮城誠真短期大学	生活の中に楽しみを求めての学び パート3	8/26 ～ 10/7	6	13

(8大学16講座)

(計905人)

自主企画講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
NPO せんだい食農交流ネット	食はいのち～「大地から食卓へ、食卓からすこやかな食を考える」～	9/26 ～ 11/14	3	83
生涯学習支援サークルマナビサポ20	もっと知り、もっと味わう！石巻ちょこっと応援隊	9/27 ～ 11/8	3	46
みやぎ・地球ゆめ楽校	世界を見る目、自分を見る目Part2～元気づて！自分好きの達人～	10/25 ～ 12/6	3	49
特定非営利活動法人宮城マネジメント協会	話の聴き方・相談の受け方を学習する「傾聴技法基本講座」	11/14 ～ 11/21	2	35
特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	実践！市民ライター養成講座	11/14 ～ 11/28	3	29
特定非営利活動法人みやぎ生涯学習指導・支援センター	住みよい地域をめざしてークリーンな地球を次世代に残すためにー	11/25 ～ 11/26	2	28

(6団体6講座)

(計270人)

(2) 生涯学習支援者養成講座「入門編・実践編」

県内の各市町村や社会教育機関・団体・民間等で生涯学習に意欲のある方を対象に、専門的な学習講座や演習の場を通して生涯学習支援者を養成するための講座を開設した。

○実施期間及び回数

入門編 11月～12月 6回
実践編 6月～9月 7回

○参加の状況

入門編 29人 実践編 15人

○修了者の名簿を作成し、市町村、関係団体などに配布し、その活用に努めた。

(3) 生涯学習活用出前講座

生涯学習支援者養成講座の修了者等を講師として、参加・参画型の学習機会に対する需要の高まりに対応した学習機会を県民に提供し、各地域における生涯学習の推進に寄与するとともに、生涯学習成果の活用促進を図ることを通じ、創造性豊かな社会の実現を目指すため講座を開設した。

○開設市町村

角田市 (9月29日～11月24日) 5回28人
岩沼市 (9月4日～11月13日) 5回25人
利府町 (8月26日～10月28日) 5回30人
大和町 (9月2日～10月6日) 5回42人

3 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

(1) 協働教育振興事業の実施

家庭・地域と学校が共に手を携えて教育の充実を図る協働教育が、全県下において活発かつ継続的・安定的に実施されるために、協働教育に関わる人材の育成、ネットワーク及び仕組みづくり等の取組を一層進めることにより、社会全体で健全な子どもたちを育てる環境を整えた。

① 協働教育振興事業

○「協働教育運営会議」の開催

第1回：6月16日(今後の会議の持ち方について)、
第2回：12月1日(家庭・地域と学校の協働による教育活動について)
第3回：2月17日(安定的・継続的な協働教育の推進に向けて)

○協働推進市町村ネットワーク会議の開催(8月18日、自治

会館、参加者63名)

○ 情報提供事業

- ・ ホームページでの協働実践情報の提供
- ・ 冊子「学校支援地域本部事業実践事例集」1,000部配布
- ・ 各種会議での事業PR、啓発(教育長会議、指導主事会議、社教主事会議、市町村主管課長・担当者会議等)
- ・ 教職員研修(初任研、10年研選択研修に各教育事務所開催の協働教育研修会の位置付け)
- ・ 県PTA連合会等関係団体との連携
県PTA連活動計画への協働教育の位置付け、協働教育研修会の地区PTAとの共催(仙台、栗原)
- ・ 報道機関を通じた広報活動

○ 協働教育研修会の開催(教育事務所毎に開催)

- 6/17気仙沼市保健福祉事務所78名
- 7/4富谷町成田公民館195名
- 9/30大崎生涯学習センター196名
- 11/7栗原市一迫ふれあいホール160名
- 11/7仙南芸術文化センター318名
- 11/19石巻市桃生公民館106名

(2) 学校支援地域本部事業

中学校区に、地域全体で学校を支援する体制をつくり、地域住民の積極的な学校支援活動を通じて教員の負担軽減を図るとともに、家庭・地域・学校・行政による協働教育の振興を図った。

○ 事業の形態 国から県への委託(県から市町村または市町村実行委員会へ再委託)

○ 学校支援地域本部事業の枠組み

○ 県事業(1,089千円)

- ① 県運営協議会の設置・運営協議会の開催
- ② 県内市町村への普及啓発・市町村支援・広報
- ③ 普及啓発研修会(コーディネーター研修)等の開催

○ 市町村実行委員会・学校支援地域本部設置(市町村等へ再委託：17,342千円)

① 市町村実行委員会の設置

- ・ コーディネーターの養成
- ・ 学校支援ボランティアの養成
- ・ 市町村内の学校支援事業の企画立案

② 学校支援地域本部の設置（中学校の余裕教室または公民館等に設置）

- ・ コーディネーター配置
- ・ 人材のコーディネート及び人材バンクの設置・活用（学校支援ボランティア）

○ 委託期間終了（平成22年）後も市町村単独で継続して事業が実施できるように県として支援や指導を実施する。

○学校支援本部事業

学校支援地域本部の設置 県内13市町17学校支援地域本部

N O	市 町 村	実行委員会名	学校支援地域本部名
1	登米市	登米市学校支援地域本部実行委員会	登米市東和地区学校支援地域本部
2	栗原市	栗原市学校支援地域本部事業実行委員会	瀬峰地区学校支援本部
3	大崎市	松山地区学校支援地域本部実行委員会	松山地区学校支援地域本部
4	蔵王町	蔵王町学校支援本部実行委員会	蔵王町学校支援本部
5	村田町	村田町学校支援協議会	村田町学校支援地域本部
6	大和町	大和町学校支援地域本部実行委員会	大和町学校支援地域本部
7	富谷町	富谷町地域と学校をつなぐ実行委員会	富谷・成田・富ヶ丘・日吉台・東向陽台地区学校支援地域本部
8	色麻町	色麻町協働のまちづくり実行委員会	色麻町学校支援地域本部
9	白石市	白石市学校支援本部実行委員会	白石市学校支援地域本部
10	多賀城市	多賀城市学校・家庭・地域連携実行委員会	東豊中学校区学校支援地域本部
11	大河原町	大河原町学校支援事業実行委員会	大河原町学校支援地域本部
12	七ヶ浜町	七ヶ浜町学校支援実行委員会	七ヶ浜町学校支援地域本部
13	川崎町	川崎町学校支援事業実行委員会	川崎町学校支援地域本部

(3) 放課後子ども教室推進事業

県内の小学校区において、すべての子どもを対象とし、放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画（ボランティア活動等）を得て、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。

- ① 放課後子ども教室推進事業 6市7町43教室
（気仙沼市、白石市、多賀城市、岩沼市、登米市、大崎市、大河原町、丸森町、山元町、富谷町、大和町、色麻町、美里町）
- ② 放課後子ども教室備品整備事業 2市4教室
（登米市、大崎市）
- ③ 放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業
 - 放課後児童クラブ指導員等ブロック研修会
（6/9柴田町37名、6/16仙台市7名、6/24大崎市12名 計56名）
 - 宮城県放課後子ども教室指導者等研修会
（11/18宮城県総合体育館50名）
 - 宮城県放課後子どもプラン連絡調整会議の開催
（7/30子ども総合センター9名、3/18自治会館9名）

第2節 社会教育の推進

1 市町村の社会教育行政

生涯学習社会に向けて、地域住民と直接的な関わりをもつ市町村の果たす役割は大きく、社会教育の推進体制の充実が強く望まれている。

特に、指導体制の強化を図るため、社会教育主管課の設置と職員の適正配置・専任化を促進するとともに、社会教育主事の派遣を行った。

- (1) 平成21年12月現在、社会教育主管課の設置状況は、39市町村等で89.7%となっている。
- (2) 市町村社会教育関係職員数は、教委事務局495人・公民館職員1,238人（職員の専任396人）・図書館職員215人・視聴覚教材センター職員32人の計1,980人である。なお、市町村における社会教育主事の配置率は94.3%である。また、社会教育指導員の配置市町村は16市町村で31人と昨年度と同数になっている。（第5-2表参照）

町村の要請に応じて県教委任命の社会教育主事16人を6町3広域行政事務組合、合併支援のため5市（栗原（1）登米（1）大崎（1）石巻（1）気仙沼（1）東松島（1））と6町（蔵王・亘理・松島・村田・富谷・南三陸）、3広域（仙南広域・大崎広域・石巻広域）に派遣し、市町村の社会教育行政における指導体制の充実強化を図った。

- (3) 社会教育委員は35市町村に設置されており、374人で1教委当たり10.6人となっている。
- (4) 公民館等は256館・職員1,238人で1館平均4.8人と微増した。公民館運営審議会は6市町に設置され、70人が配置されている。県市町立図書館は31館あり、専任職員は215人（司書、司書補84人）1館平均6.9人となっている。

2 社会教育委員の会議

第30次宮城県社会教育委員の会議意見書『「地域の教育力」の活性化を目指す社会教育拠点施設の在り方について—地域社会の人材や事業成果等蓄積されてきた地域教育資源の活用を通して—』を教育委員会に提言した。

会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第5回会議	平成21年 5月14日	○第30次宮城県社会教育委員の意見書骨子（案）について	宮城県本町分庁舎
第6回会議	平成21年 7月28日	○第30次宮城県社会教育委員意見書項立てについて	宮城県行政庁舎
第7回会議	平成21年 10月6日	○第30次宮城県社会教育委員意見書項立てについて ○地域の活動実践と教育力について	宮城県行政庁舎
第1回小委員会	平成21年 10月28日	○意見書（案）の全体構成について	宮城県行政庁舎
第2回小委員会	平成21年 11月11日	○意見書（案）の内容検討について	宮城県行政庁舎
第8回会議	平成21年 11月25日	○意見書第1次素案検討について	宮城県行政庁舎
第9回会議	平成22年 2月4日	○第30次宮城県社会教育委員の意見書について	宮城県行政庁舎

3 研修事業

- (1) 社会の進展に伴う県民の学習要求の多様化・高度化に対応し、研修内容を体系的に編成し社会教育関係職員の専門性、指導力の向上を図るため、次の研修を実施した。（第5-4表参照）
- (2) 社会教育専門職員・団体などの中核的指導者を養成するために国や大学が行う各種講習会・研修会・講座への参加を積極的に進めた。

第5-2表 社会教育関係職員数 (単位：人)

教 育 事 務 所 等	市 教 町 委 村 等 数	社会教育主事				公民館職員			
		専任	派遣	兼任	計	専任	兼任	その他	計
大河原	9	8	3	6	17	22	54	103	179
仙 台	13	11	3	4	18	50	100	43	193
北 部	5	5	1	4	10	21	80	40	141
北部栗原	1	1	1	1	3	0	10	0	10
東部登米	1	1	1	0	2	14	40	0	54
東 部	3	3	2	1	6	11	59	7	77
南三陸	2	2	2	2	6	19	15	21	55
仙台市	1	0	0	3	3	259	15	130	404
広 域	4	3	3	1	7	0	0	0	0
計	39	34	16	22	72	396	373	344	1,113

第5-3表 第30次宮城県社会教育委員名簿 (平成21年4月1日現在)

No	氏 名	役 職 名
1	青 木 道 夫	大崎市中央公民館館長
2	阿 部 かほる	子育て支援「みやぎわっこの会」代表
3	石 垣 政 裕	みやぎお父さんの会ネットワーク世話人代表
4	大 内 久美子	公募委員
5	大 沼 隆 裕	宮城県PTA連合会会計理事
6	小 野 優 子	青少年体験活動コーディネーター
7	河 野 民 帆	宮城県仙台第三高等学校長
8	菅 原 琢 臣	宮城県青年団連絡協議会元会長
9	千 葉 芳 樹	富谷町副町長
10	梨 本 雄 太郎	宮城教育大学准教授
11	水 谷 修	東北学院大学教授
12	森 雅 一 郎	東北放送アナウンス学院長
13	渡 邊 美 代 子	名取市立愛島小学校長
任 期	平成20年3月1日から平成22年2月28日まで ※名簿は五十音順です。	

第5-4表

平成21年度社会教育関係職員研修事業

No.	事業名	趣 旨	対 象	期 日	会 場	参加者数 (人)
1	生涯学習・社会教育主管課長等会議	本県生涯学習施策と主要推進事項等の共通理解を深めるとともに、その推進方策や市町村における生涯学習事業の推進について協議する。	県社会教育主事・市町村社会教育主管課長	4月17日	県自治会館	113
				11月27日	県行政庁舎	73
2	社会教育関係職員研修会	生涯学習時代における社会教育関係職員・公民館職員の果たすべき役割を明らかにするとともに、企画者、援助者としての専門的知識・技能について研修する。	社会教育行政職員・公民館職員等	5月28日	県自治会館	64
				8月26日	県図書館	60
				10月8日	県美術館	98
3	県社会教育委員研修会	県内市町村等の社会教育委員及び社会教育行政の担当者が、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進方策について研修する。	県・市町村社会教育委員、社会教育関係職員等	10月1日	県美術館	204
4	社会教育主事研修会	社会教育主事に必要な知識や技能の向上を図る。	県・市町村等社会教育主事	9月10日	県行政庁舎	38
5	社会教育主事講習事前研修会 (①・②)	社会教育についての認識を深めるとともに、社会教育主事の役割及び受講の心構えについて研修する。	東北大学社会教育主事講習受講者	①6月25日	県行政庁舎	51
				②6月26日		51

●国立教育政策研究所主催社会教育研修事業

	講 座 名	期 日	受 講 者 数	受 講 者 所 属	
1	社会教育主事講習 (A)	7月22日 (水)～8月26日 (水)	36日間	2人	仙台市2
2	社会教育主事講習 (B)	1月18日 (月)～2月24日 (水)	38日間	1人	山元町1
3	メディア教育指導者講座	9月28日 (月)～10月2日 (金)	5日間	0人	

●東北大学社会教育主事講習 (7月6日(月)～8月7日(金))

受講者数51人 (県45人・市町村5人)

4 社会教育団体に対する支援

全県的組織をもつ社会教育団体に対しての支援として、平成21年度から団体への補助金から、団体が申請する事業に対しての補助金の交付に改訂した。また、社会教育団体連絡会議を2回開催し、団体相互の交流と情報交換の機会としている。

第5-5表

	団 体 名	代表者名	補助金 (千円)
1	宮城県地域婦人団体連絡協議会	三浦 絢子	0
2	宮城県青年団連絡協議会	伊藤 治彦	0
3	宮城県PTA連合会	高橋 定光	0
4	宮城県高等学校PTA連合会	長尾 良弘	0
5	日本ボーイスカウト宮城県連盟	村井 嘉浩	0
6	㈸ガールスカウト日本連盟宮城県支部	笠間 恵子	0
7	㈸宮城県子ども会育成連合会	菅原 芳郎	0
8	宮城県公民館連絡協議会	山口 宏	0
9	宮城県視聴覚教育連絡協議会	亀井 芳光	0
10	宮城県社会教育委員連絡協議会	菅原 敏元	0
11	宮城県ユネスコ連絡協議会	藤原 五郎	150
12	㈸宮城県芸術協会	小山喜三郎	0

5 社会教育施設の状況

生涯学習の拠点として期待される社会教育施設については、積極的に整備充実を図ってきたところであるが、市町村合併等による再編により施設の適正配置、専門職員体制の整備、事業内容の充実、関連施設とのネットワーク化等を図り、県民の多様な学習要求に対応できる施設整備が求められている。

(1) 公民館等

ア 設置状況

公民館は、平成21年度現在256館設置されている。市町村合併の進展や学習ニーズの多様化、高度化に伴い、地域の実情に応じて、関連施設の整備状況などを考慮し、適正な配置と整備充実が進められてきた。(第5-6, 7, 8表参照)

イ 職員体制と研修活動

(ア) 職員は専任の割合が35.6%で1館当たり1.5人である。

(イ) 研修活動としては、社会教育関係職員研修を2回、県自治会館において開催した。

第5-6表 公民館設置状況 (平成21年12月31日現在)

区 分	対象人口 (人) (H17国勢調査速報)	現 況		1市町村当たり 館数 (館)	1館当たり人口 (人)
		市町村数	総 数		
大河原	188,216	9	49	5.4	3,841
仙 台	440,078	13	39	3.0	11,284
大 崎	215,092	5	43	8.6	5,002
栗 原	77,931	1	21	21.0	3,711
登 米	86,962	1	17	17.0	5,115
東 部	217,632	3	12	4.0	18,136
南三陸	93,876	2	16	5.3	5,867
仙台市	1,029,595	1	59	59.0	17,451
計	2,349,382	35	256	7.3	9,177

第5-7表 過去10年間に於ける公民館整備状況

区 分	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	この10年 間の平均	この5年 間の平均
新築数 (館)	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0.5	0.0

表5-8表 公民館職員配置状況

(平21.12.1現在)

区 分	館長 (人)	主事等 (人)	計 (人)	割合 (%)
専 任	20	376	396	35.6
兼 任	68	305	373	33.5
嘱 託	133	211	344	30.9
計	221	892	1,113	100.0

(2) 図書館

第5-9表

図書館設置状況

	設置年	床面積 (㎡)	蔵書点数 (21年度:点)	個人貸出点数 (21年度:点)	専任職員数 (21年度:人)	うち有資格者数 (21年度:人)	図書購入費 (21年度決算 額:千円)
宮城県図書館	明治14年	18,100	1,056,237	903,075	39	12	38,074
仙台市民図書館	昭和37年	3,750	487,128	1,008,738	25	12	58,222
仙台市広瀬図書館	平成3年	600	103,098	391,963	-	-	8,383
仙台市宮城野図書館	平成2年	3,247	233,144	630,810	10	1	17,534
仙台市榴岡図書館	昭和58年	607	70,727	225,486	5	2	6,761
仙台市若林図書館	平成5年	1,911	226,314	737,519	10	3	17,974
仙台市太白図書館	平成11年	2,454	210,247	802,520	9	5	1,7260
仙台市泉図書館	昭和53年	6,979	521,949	1,057,725	17	5	23,992
石巻市図書館	明治14年	1,463	274,354	324,410	10	3	11,736
塩竈市民図書館	昭和51年	2,543	233,749	308,508	10	3	15,456
気仙沼図書館	大正5年	1,944	216,534	193,087	4	1	7,059
本吉図書館	昭和26年	476	80,954	61,281	4	3	2,572
白石市図書館	大正3年	1,439	115,993	106,145	5	2	6,131
名取市図書館	昭和51年	862	179,971	296,853	6	4	12,140
角田市図書館	昭和46年	885	144,375	187,158	5	2	7,401
多賀城市立図書館	昭和53年	1,541	198,601	518,584	10	3	13,280
岩沼市図書館	昭和50年	976	120,567	221,655	3	3	9,999
登米市立迫図書館	昭和37年	531	35,707	43,525	2	1	1,481
登米市立登米図書館	昭和29年	124	30,207	12,185	-	-	867
栗原市立図書館	平成10年	1,809	101,678	141,581	-	-	9,067
東松島市図書館	平成5年	999	156,332	254,387	3	2	6,706
大崎市図書館	昭和36年	1,519	140,328	256,608	8	4	11,234
蔵王町立図書館	平成16年	593	46,743	99,741	1	1	4,351
丸森町立金山図書館	昭和11年	121	20,000	850	-	-	108
亘理町立図書館	平成6年	1,963	149,349	191,360	6	2	7,652
利府町図書館	平成16年	203	41,782	159,337	5	3	4,329
加美町中新田図書館	平成6年	2,878	251,760	109,449	3	1	7,954
加美町小野田図書館	平成16年	903	72,664	81,256	2	1	3,225
美里町小牛田図書館	平成2年	923	120,734	141,806	3	1	5,606
美里町南郷図書館	平成18年	261	28,061	29,855	1	1	2,776
南三陸町図書館	昭和62年	420	30,325	32,877	3	1	2,286
合計	-	-	5,699,612	9,530,334	209	82	341,616

(3) 博物館

登録施設・相当施設合わせて16館あるが、民族資料館など各地域の特色を生かした類似施設が年々整備されてきている。
(第5-10表参照)
県美術館は「開かれた」総合美術センターとして広く県民生

活に密着し、親しまれる事業を企画・実施してきた。

今後ますます県民の豊かな文化環境を求める気運が高まる中で、それぞれの博物館、類似施設などの特色を十分生かした連携が強く望まれる。

第5-10表

博物館設置状況

施設名	設置者	登録年月日	所在地
東北歴史博物館	宮城県	平成12年1月26日	多賀城市高崎1-22-1
宮城県美術館	宮城県	昭和57年9月4日	仙台市青葉区川内元支倉34-1
瑞巖寺宝物館	宗教法人瑞巖寺	昭和27年8月13日	松島町松島字町内91
斉藤報恩会自然史博物館	財団法人斉藤報恩会	昭和29年9月13日	仙台市青葉区本町二丁目20-2
仙台市博物館	仙台市	昭和36年10月2日	仙台市青葉区川内三の丸跡
塩竈神社博物館	宗教法人志波彦塩竈神社	昭和41年5月6日	塩竈市一森山1-1
仙台市科学館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市青葉区台原森林公園4-1
カメイ記念展示館	財団法人カメイ社会教育振興財団	平成7年11月10日	仙台市青葉区五橋1-1-3
歴史博物館青葉城資料展示館	宗教法人宮城県護国神社	平成18年10月20日	仙台市青葉区川内1番地
マリニピア松島水族館	仙台急行株式会社	昭和30年12月28日	松島町浪打浜16
八木山動物公園	仙台市	昭和41年5月25日	仙台市太白区八木山本町1-43
共生福祉会福島美術館	社会福祉法人共生福祉会	昭和55年8月4日	仙台市若林区土樋288-2
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	学校法人栴壇学園	平成元年5月31日	仙台市青葉区国見一丁目8-1
ふるさと歴史館	大崎市	平成4年3月1日	大崎市松山千石字松山428
東北陶磁文化館	加美町	平成6年7月28日	加美町字町裏64
リアス・アーク美術館	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	平成12年7月18日	気仙沼市字赤岩牧沢138-5

(4) 青少年教育施設

自然の家3施設(県立)、少年自然の家2施設(国立1、仙台市立1)、国立野営場1施設、青年会館1館があり、それぞれの施設の特色を生かした事業が実施されている。

(3) 学校図書館関係職員講習会

期日：平成22年1月21日
会場：行政庁舎2階講堂
参加者：198人

(5) 宮城県婦人会館

一日(日帰り)研修、家庭における男女共同参画講座などの事業を、指定管理者である(財)みやぎ婦人会館が実施した。

6 子ども読書活動推進事業

県内における子どもの読書活動の推進に関する方策と具体的な取組を内容として、平成21年4月に策定された「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」を踏まえ、各市町村の子ども読書活動推進計画の実施を支援するため、活動の担い手(ボランティア、団体、学校担当者等)を育成する講習会を開催した。

(1) 読み聞かせボランティア養成講座

- ・気仙沼市
期日：平成21年6月25日～7月16日
会場：気仙沼市民会館他
修了者：38人
- ・名取市
期日：平成21年6月26日～7月17日
会場：名取市役所他
修了者：38人
- ・塩竈市
期日：平成21年9月10日～10月8日
会場：塩竈市民図書館他
修了者：31人
- ・柴田町
期日：平成21年10月7日～10月28日
会場：船迫生涯学習センター他
修了者：33人

(2) ブックトーク講座

期日：平成21年12月15日、平成22年1月19日
会場：自治会館
修了者：13人

第3節 青少年教育

青少年を取り巻く社会環境の変化が青少年にさまざまな影響を与えている中、次代を担う青少年が社会の変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、たくましく思いやりのある人間として育つための青少年育成体制と事業の充実、環境づくりの総合的な推進に努める。

(1) 青少年育成指導者研修の実施

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）研修会	<p>学校外活動の充実と地域におけるMAPの普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MAP体験会 MAPの基本的な考え方を学ぶとともに、簡単なMAPのアクティビティを体験する。 ・MAP講習Ⅰ MAPの理論やプログラミングを学ぶとともに、様々なMAPのアクティビティやローエレメントを研修する。 ・MAP講習Ⅱ MAPのプログラミングの組立と、アドベンチャーカウンセリング等心理的手法を学ぶ。 	<p>市町村教育委員会・公民館・青少年行政担当者・施設職員・少年教育指導者等各 25人</p> <p>MAP体験会修了者 25人</p> <p>MAP講習Ⅰ修了者 25人</p>	<p>5月13日（火）</p> <p>5月20日（火）</p> <p>5月24日（土）</p> <p>6月4日（水） ～6日（金）</p> <p>11月26日（水） ～28日（金）</p>	<p>志津川自然の家</p> <p>松島自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p> <p>志津川自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p>
2	ジュニア・リーダー中級研修会	<p>ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身につけさせ、実践力を高めさせる研修会を開催。</p>	<p>ジュニア・リーダー初級研修を修了し、10時間以上の活動実績のある中学2年生から高校生等（市町村教育委員会の推薦者）</p> <p>大河原 33人 仙台 29人 北部 16人 栗原 17人 登米 6人 東部 47人 南三陸 20人</p>	<p>7月・8月</p>	<p>教育事務所ごと5会場で実施（南三陸・登米、北部・栗原合同開催）</p> <p>蔵王自然の家 生涯学習セミナールーム 国立花山青少年自然の家 国立花山青少年自然の家 志津川自然の家 松島自然の家 志津川自然の家</p>
3	ジュニア・リーダー上級研修会	<p>ジュニア・リーダーによる発展的活動について深く理解し、自主的な活動意欲を高めさせる研修会を開催。</p>	<p>ジュニア・リーダー中級研修を修了し、10時間以上の活動実績のある高校生等（市町村教育委員会の推薦者）</p> <p>大河原 16人 仙台 13人 北部 4人 栗原 2人 登米 4人 東部 7人 南三陸 4人</p>	<p>12月25日（金） ～27日（日）</p>	<p>蔵王自然の家 志津川自然の家</p>

(2) 地域教育力活性化推進体制の充実

完全学校週5日制を契機とした地域教育力活性化に向けた総合的な取組への企画立案等やそれに伴う諸課題について協議する推進協議会を設置すると共に、幅広い関係機関・団体と連携等を行う活動支援センターを設置し、学校教育と社会教育を通じた青少年の奉仕活動・体験活動の推進体制の整備に努めた。

また、地域教育力活性化のための先進的事業として、地域の児童生徒と障害のある児童生徒との交流体験活動を実施した。

・ 青少年の心のシンフォニー

「ハートフル潮風」

- ・ 内容：砂遊び、野外炊飯、地引き綱、クラフト等
- ・ 対象：障害のある児童・生徒、小・中・高校生 104人
- ・ 期日：8月22日～23日
- ・ 会場：松島自然の家

(3) 青少年の体験活動・ボランティア活動支援

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	地域教育力活性化モデル事業	再掲	児童生徒	通年	青少年関係施設等
2	青少年長期自然体験活動推進事業	夏季休業中等に、親と離れて1週間程度の自然体験、長期宿泊体験活動等を通して自主性・社会性の育成を図る。	60人	8月1日～7日	蔵王自然の家
			36人	8月3日～9日	松島自然の家
			30人	8月6日～12日	志津川自然の家
3	セカンドスクールの活用事業	児童生徒に豊かな体験の場を提供するために、学校と青少年教育施設との連携・融合を図り、宿泊体験活動についての支援・協力を推進する。	児童生徒 497人	通年 10月27日～ 11月20日	松島自然の家
			537人	5月26日～ 10月2日	蔵王自然の家
			72人	11月17日～ 11月19日	志津川自然の家
4	青少年教育施設におけるボランティア活動推進事業	青少年教育施設におけるボランティアの活用を図るとともに養成研修を実施する。	青年成人 58人	通年	蔵王自然の家
			65人		松島自然の家
			15人		志津川自然の家
5	自然体験活動指導者養成事業	1週間程度の長期自然体験活動などの体験活動を実施できる指導者を養成する研修を実施する。	青年成人 20人	8月11日～13日	松島自然の家
6	青少年の課題に対応した体験活動推進プロジェクト「くりこま冒険塾」	NPOによる長期自然体験活動(短期山村留学)を実施する。	小学2年生～中学生 3年生		
			15人	8月16日～23日	くりこま高原自然学校
			21人	12月26日～30日	くりこま高原自然学校

(4) 青年の地域活動支援(青年文化祭、青年体育大会の実施)

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青年地域活動促進事業	青年の文化活動及びスポーツ活動を軸とした地域活動を推進し、真に豊かな地域社会の創造を目指す。 (1)地方青年文化祭 (2)宮城県青年文化祭 (3)宮城県青年体育大会 (4)全国青年大会	各市町村青年	11月～3月	各教育事務所管内7会場 松島町中央公民館 大崎市沼辺公民館 他 東京都(日本青年館他)
			県内青年	5月31日	
			県内青年	8月8日 9日 8月30日	
			県青年代表	11月12日～16日	
2	青年会館研修奨励事業	地域づくりに寄与できる青年の育成と青年団体指導者の資質向上を図る諸事業を実施する。 (1)青年地域交流事業 (2)青少年地域体験活動推進事業 (3)地域教育力支援事業	各種青年	9月	(財)宮城県青年会館
			小学4～6年生及び各種青年	7月、3月	
			県内地域親子	通年	

(5) 青年団体への協力・援助

青年団への加入率低迷の中で、団体間連絡の必要性がさげばれ、連絡協議会を結成し12団体が加盟している。

ア 地域青年団

地域青年団は、宮城県青年団連絡協議会をもって代表される。平成21年度登録団員数は、776人となっている。地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会、全国青年大会を中心に協力・援助を行っている。

イ その他の青年団体

地域青年団体以外の青年団体は、次に掲げるとおりである。
宮城県農村青少年クラブ連絡協議会
宮城県農協青年連盟
宮城県商工会青年部連合会
宮城県林業研究会連絡協議会
宮城県友愛青年同志会
宮城県森林組合青年部連絡協議会
宮城県漁協青年団体連絡協議会
宮城県青年国際交流機構
宮城県青年の船友の会
宮城県青年海外協力協会
宮城県ユースホステル協会
伊達な翼の会

第4節 成人教育

1 女性教育

(1) 指導の要点

女性のライフスタイルの変化に伴う学習要求の多様化に対応した女性教育の学習機会の充実と、婦人学級・女性団体の自主的活動の促進を図った。

(2) 市町村における女性教育に関する学級実施状況（除：仙台市）

○学級事業数 282 参加者数 13,137人

(3) 市町村における女性ボランティア養成講座（除：仙台市）

○講座数 13 参加者数 759人

(4) 地域婦人団体の現状

県内では121単位団体、11,686人の会員を有する宮城県地域婦人団体連絡協議会は、青少年の健全育成、男女共同参画社会の実現、環境保全と資源の有効利用、高齢化社会への対応、世界平和の確立等の実現に努めることを目的とする全国組織を持つ団体である。

宮婦連の自主性を尊重しつつ、求めに応じて指導、助言、援助を行った。

2 家庭教育

(1) 指導の要点

心豊かなたくましい青少年の育成を目指し、家庭・学校・地域が持つ独自の教育機能の強化に努め相互の連携を図ることを目標とした。

ア 基本的な生活の場である家庭の在り方や、乳幼児期における家庭教育に関する学習の充実を努める。

イ 家庭教育に関する親の学習機会・内容の充実や情報提供などを推進するとともに指導者の確保を図る。

ウ 子供を取り巻くあらゆる人々を対象とし、特に男女が共に参加できる学習の場の提供と、保健衛生・福祉等関係機関との連携に努める。

(2) 事業

1 家庭教育子育て支援推進事業

① 趣旨

家庭教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要な役割を担うものであり、学校教育・社会教育につながる生涯教育の起点でもある。特に心身両面で著しい発達を示す乳幼児期にその発達を促し、調和のとれた子供に育てていくことは親たちの大きな役割であり、果たすべき大きな課題である。

子育てを行っている親等が当面している家庭教育上の諸問題について必要な情報や学習機会を提供するとともに、子供を育てていく上で適切な助言や指導が行える相談体制の整備に努める等、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実と振興を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

④ 事業内容

家庭教育電話相談

「すこやか子育てテレホン相談」

月～金の11:00～15:00

*その他 FAXは24時間対応

2 訪問型家庭教育相談体制充実事業（文部科学省委託事業）

① 趣旨

地域の子育て経験者や専門家の連携による「訪問型家庭教育支援チーム」を設置し、積極的かつきめ細かな相談体制の充実を図るための手法開発を行う。

② 実施期間 4月2日～2月27日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

④ 事業内容

ア みやぎ地域家庭教育推進協議会 年5回

期日 平成21年6月18日、7月22日、10月28日

12月16日、平成22年2月16日

イ 再委託先（色麻町）の主な事業

(ア) 広報誌「ほっとたいむ」作成と配布（年3回）

(イ) 学校への訪問（18回）

(ウ) 家庭への訪問（7回）

(オ) 企業への訪問（3回）

3 家庭教育支援基盤形成事業（文部科学省補助事業）

① 趣旨

家庭教育支援チームの普及・定着、子育てサポーターの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供することで、家庭教育の充実を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育の関心をもつ者、これから親になる青年男女等。

④ 事業内容

ア 子育てサポーター養成講座

期日 平成21年7月3日～12月9日まで各2日間

8時間程度の研修

会場 大河原管内 大河原合同庁舎

仙台管内 仙台合同庁舎

北部管内 大崎合同庁舎、栗原文化会館

東部管内 登米合同庁舎、石巻合同庁舎

南三陸管内 気仙沼市地域交流センター

内容 地域の子育て支援者の養成

受講者 124人（内修了生101人）

イ 市町村における家庭教育に関する事業・学級

（補助事業実施13市町村）

136回（参加人数8,110名）

3 P T A

(1) 平成21年度宮城県P T A指導者研修会

ア 研究テーマ

① 会員の研修活動に関するもの

② 学級、学年、地区P T A活動に関するもの

③ 青少年健全育成にかかわる地域活動に関するもの

イ 期日・会場

7月～12月

宮城県P T A指導者中央研修会（仙台市）

宮城県P T A指導者地区研修会

高校6会場、特別支援教育1会場

(2) 宮城県P T A連合会の主な事業

ア 代議員会（名取市）

イ 第57回日本P T A全国研究大会みやぎ大会

ウ 地区セミナー（22会場）

エ 単位P T A会長会（蔵王町）

オ 機関紙「P T Aみやぎ」の発行

(3) 宮城県高等学校P T A連合会の主な事業

ア 総会（仙台市）

イ 「高P連会報」発行

ウ 高校P T Aフェスティバル2009（仙台市）

(4) 優良PTAの表彰

文部科学大臣表彰（5団体）

- ・亘理町立荒浜中学校父母教師会
- ・仙台市立東仙台中学校父母教師会
- ・仙台市立八木山南小学校PTA
- ・宮城県村田高等学校父母教師会
- ・宮城県立古川支援学校PTA

4 人権教育

- ・平成21年度人権教育指導者研修会

塩竈市父母教師会連合会会員を対象に学校・家庭での日常生活において、身近な出来事が人権に関わることであることに気づくとともに、基本的人権はいかに理解されるべきであるかを考え、人権理解の涵養をはかることを目的に開催。

ア 期 日 10月4日（日）

イ 会 場 夢メッセみやぎ

ウ 内 容 講演会「電話から見える子どもの姿」

エ 参加者 235人

第5節 視聴覚教育

学校・社会教育におけるメディアの積極的な活用を促進するとともに情報化社会に対応する教育内容・方法の充実と開発，人材の育成を図るため，視聴覚教育推進拠点及び推進体制の整備充実と研修の拡充を目標として掲げ，その具体化と実践化に努めた。

1 視聴覚教材センター（ライブラリー）の設置状況

(1) 県視聴覚ライブラリー

県の視聴覚ライブラリーは，県図書館内に併置され，地域視聴覚教材センター（ライブラリー）間の連絡調整・指導助言と一般県民に対する視聴覚教材等の提供などに努めた。

(2) 市町村の視聴覚教材センター（ライブラリー）

地域視聴覚教材センターは，完全公立化（一部事務組合4・単独5・協議会1）され，視聴覚教育推進拠点となっている。

人的体制・予算措置などに格差がみられ，事業の展開にも影響がでているので，各センター間の連携を強め相互援助を図る中で視聴覚教育の普遍化を目指し，地域の総合的な学習情報機能をもつよう努めた。

2 事業

(1) 自作視聴覚教材コンクール

ア 事業の目的

視聴覚教材の自作を通じた個人・グループの自主的学習活動の成果を発表する機会を設け，視聴覚センター・ライブラリー機能の拡充と視聴覚教育の振興を図る。

イ 事業概要

・とき 2月14日（土）

・ところ 宮城県図書館

県内10の視聴覚教材センターの予選を経て学校教育及び社会教育の学習教材が出品された。（5部門 29点）

第6節 宮城県図書館

1 宮城県図書館振興基本計画

○ 理念

情報の拠点としての県図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様により充実した生涯学習を支援します。

なお、この計画は2008年から2012年の5ヵ年で進めるものです。

○ 基本方針

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
- (2) 情報の拠点としての図書館
- (3) 次世代を育成する図書館

○ 施策と事業計画

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
 - ① 資料の収集・整備
 - a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備
 - ② 生涯学習情報の提供
 - a 学習機会の提供
 - ③ 利用しやすい図書館への工夫
 - a 情報発信の促進
 - b 館内表示の工夫
- (2) 情報の拠点としての図書館
 - ① 県内市町村図書館等への支援・連携・協働
 - a 図書館資料の協力貸出の推進
 - b 図書館間の相互協力体制の充実
 - c 図書館の整備・運営に関する助言
 - ② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実
 - a 図書館情報ネットワークシステムの整備
 - b 障がい者サービスの充実
 - ③ 調査・研究に役立つ機能の充実
 - a 調査・研究に役立つ資料の収集
 - b レファレンス事例の作成・公開
- (3) 次世代を育成する図書館
 - ① 郷土関係資料の維持・充実
 - a 宮城に関する資料の収集と整備
 - b 宮城県の行政資料の収集と行政課題に関する情報提供
 - ② 子どもの読書環境の充実
 - a 読書環境の整備充実
 - b 読書活動の理解の促進
 - ③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進
 - a 図書館の知的財産の活用
 - b 図書館の人的資源の活用

2 事業予算

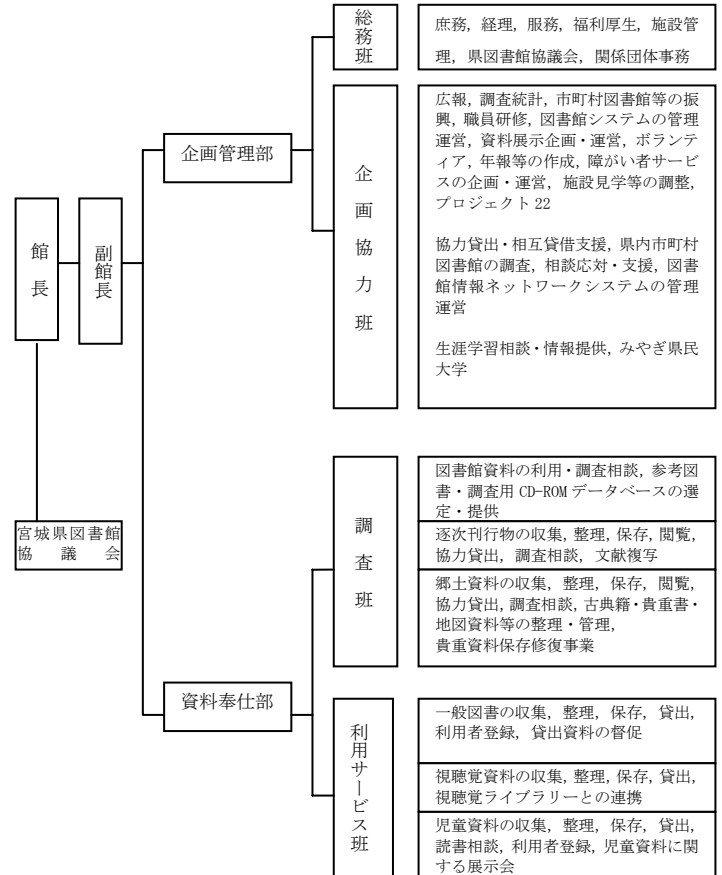
(単位：千円)

区分	当初予算額	概要
管理経費	228,309	本館の運営維持費 (定員内職員の人件費を除く)
図書館協議会	439	図書館協議会運営費
図書館運営費	3,884	機器使用料, 消耗品等に要する経費
市町村支援費	53,252	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企画広報費	747	広報等に要する経費
資料購入費	42,767	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,257	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合計	331,655	

3 職員組織及び事務分掌

(1) 組織及び事務分掌

(平成21年4月1日)



(2) 職員数

() : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主任	主任主査	主査	主事	計	嘱託	臨時職員	計
人数	1	1	2	3	5	3	9	17	41	18	23	41
()	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(3)	(8)	(14)	(18)	(7)	(25)

4 宮城県図書館協議会

(1) 第29次宮城県図書館協議会委員名簿

(任期：平成20年3月1日～平成22年2月28日)

区分	氏名	役職名	備考
会長	澤井 清	宮城学院女子大学 教授	
副会長	野家 啓一	東北大学理事・附属図書館長	
委員	遠藤 幸生	宮城県佐沼高等学校 校長	
委員	大島 真理	東北福祉大学 准教授	
委員	齋藤 弘子	宮城テレビ番組審議会委員	
委員	小島 四郎	仙台市民図書館 館長	
委員	千葉 啓子	風のアトリエ (自営)	
委員	千葉 由香	(有) 荒蝦夷 取締役	
委員	寺島 英弥	(株) 河北新報 編集局生活文化部長	
委員	平間 啓子	白石市役所 市民課 課長	

(2) 宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成21年6月25日(木)

- ① 報告事項 平成20年度事業の実績について
平成21年度予算及び事業計画について

第2回 平成22年2月25日(木)

- ① 報告事項 平成21年度事業実施状況について
- ② 協議事項 宮城県図書館の自己評価の実施について

5 実施事業の概要

(1) 生涯学習に役立つ図書館

① 資料の収集・整備

a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備

資料の整備状況

〔一般図書資料〕(外国語書籍を含む)

購入7,247冊、寄贈1,514冊、その他966冊の受入・整理を行ったほか、1日短縮の見直しを図った特別整理期間には、蔵書点検や本棚の整理、清掃等を行いました。また、利用者が資料を選びやすいように、書架の両端に分類等の表示を行いました。

〔視聴覚資料〕

購入資料点数は389点で、内訳はDVD(234点)、カセットテープ(34点)、コンパクトディスク(79点)、楽譜(33点)、そして新しい形態の映像資料としてELIB(9点)を、県民の学習ニーズ、教育の今日的課題、保存の必要性(郷土資料を含む)の視点から収集、受入・整理を行いました。また、利用者が資料を選びやすいように、配架を工夫しました。

購入資料、寄贈資料、その他を含め、全体で631点の整理を行いました。

録音図書、字幕・音声解説ビデオ資料等については、計画的な整備に努めました。

〔児童資料〕(紙芝居などを含む)

購入4,760冊、寄贈114冊、その他60冊の図書を整理しました。資料については、見計らい選書を中心に児童図書及び研究資料を精選して収集しました。

開架書架を増設し、今まで閉架書庫にあった児童資料研究室資料の一部を移動することにより、より多くの資料を直接手に取り利用できるように工夫しました。

〔逐次刊行物〕

雑誌、年鑑類、行政資料、新聞は合わせて購入849タイトル、寄贈2,603タイトル、計3,452タイトルを受け入れ、整理しました。雑誌のうち『国文学』『広告批評』など9誌が平成21年度途中に廃刊となりました。

県内市町村図書館からは、移管雑誌を502タイトル、8,591冊を受け入れ、整理しました。雑誌の特集情報を検索ツールとして整備するために、本館業務システムへの登録作業を行い、21年度分登録件数は11,970件で、全登録総数は49,356件となりました。

〔郷土資料〕(地図・電子図書・マイクロフィルムを含む)

郷土関係資料は、購入502点、寄贈945点、計1,447点を受け入れ、整理しました。地図の受け入れは行いませんでした。

重点テーマとして『セントラル自動車社史』など「自動車産業関係資料」、「地震・津波関係資料」などを収集しました。

古典籍の利用者代替資料(マイクロフィルム)の劣化に対応するため、再整備事業を実施しました。平成21年度は『奥道中歌』『仙台領古城』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム52本を複製し、7本にまとめて収録しました。

② 生涯学習情報の提供

a 学習機会の提供

・ボランティア活動の機会の提供

図書館でのボランティア活動の機会を提供するために、ボランティアの募集を行いました。新規登録は51人で、ボランティア登録者は延べ121人となりました。一般講座(20年度末に実施済み参加者:38人)のほか、活動内容ごとの専門講座として、一般書架整理(登録者32人)、児童書架整理(同9人)視聴覚整理(同18人)、読み聞かせ(同10人)、音訳(同35人)、図書館案内(同17人)を実施しました(一部20年度末に実施済み)。また、次年度継続希望者を対象に全体研修会を実施しました。

・図書館ボランティア研修

1) 養成講座(本館ボランティア平成21年度新規登録者(41人)を対象に実施)

ア 一般講座

期日:平成21年2月26日(木)・28日(土)(追加登録者向け5月21日(木)・23日(土))

内容:宮城県図書館の概要、ボランティアについて、各活動担当者の紹介

(参加者:48人、内追加登録参加者10人)

イ 専門講座(活動分野ごとに、ボランティア登録を行い、専門講座を実施しました。ただし、複数の専門講座を受講できることとしています。

書架整理一般(全2回)〈平成21年度新規登録者19人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月21日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	4人
2	5月23日(土)	ラベル(請求記号)・配架について	2人

書架整理児童〈平成21年度新規登録者9人〉

回	期日	内容	参加者
1	21年2月26日(木)	ラベル(請求記号)・配架について①	4人

視聴覚(全2回)〈平成21年度新規登録者8人〉

回	期日	内容	参加者
1	21年3月27日(金)	活動内容について・フロア配架区分について・配架練習①	4人
2	21年3月28日(土)	同上②	4人

読み聞かせ〈平成21年度新規登録者5人〉

回	期日	内容	参加者
1	21年2月26日(木)	おはなし会について、選本について	5人

音訳I(全4回)〈平成21年度新規登録者7人 経験年数2年未満の継続者9人〉

回	期日	講座I内容	参加者
1	4月16日(木)	障がい者サービスについて、読み調べについて	6人
2	4月23日(木)	読み調べについて	6人
3	5月13日(水)	音訳サービスの実際1(読みの基本、機器の操作方法)	6人
4	5月14日(木)	音訳サービスの実際2(機器の操作方法)全体会	16人

音訳II(全2回)〈平成21年度現在登録者36人〉

回	期日	講座II内容	参加者
1	9月30日(水)	読みの基本、音訳マニュアルについて	12人
2	10月3日(土)	文芸作品の読み方、報道記事の読み方	16人

図書館案内(全4回)〈平成21年度新規登録者6人を含む17人を対象に実施〉

回	期日	内容	参加者
1	5月29日(金) 5月30日(土)	施設見学(どこでどのように案内を行えばよいかについて)対象:新規登録者	8人
2	7月4日(土) 7月10日(金)	常設展きらめく叡智と美のしずく 宮城の貴重書レプリカ展(見どころとお勧めポイントについて)対象者:希望者	13人
3	11月21日(土)	特別展THE MANGA~みやぎが生んだヒーローたち~(見どころとお勧めポイントについて)対象者:希望者	10人
4	22年3月13日(土)	特別展立版古~江戸・明治の飛び出す錦絵~(見どころとお勧めポイントについて)対象者:希望者	5人

2) 全体研修会〈本館ボランティア登録者121人(新規51人, 継続70人)を対象〉

期日:平成22年3月11日(木)

内容:各活動報告・講義「障がい者サービスについて」(参加者:31人)

・上映会

年間を通し定期的に49回実施し,1,555人の入場者がありました。これは,昨年度の2倍以上の数値となっています。年度途中にアンケートを実施し,その結果も踏まえ年度後半の上映作品を選定し実施しました。アンケートでは既上映作品の再上映や図書館では所蔵していない作品の上映希望などもあり,利用者の関心の高さがうかがえました。

初めてバリアフリー映画の上映も行い次年度につながる成果を得られました。

期日:毎月第2・第4土曜日と日曜日に実施。さらに平日(金曜日)に2回実施したところ作品の内容によっては,休日と変わらない利用者が訪れました。

また,3階一般図書と2階児童図書室で,上映会関連本展示コーナーを設置しました。

・「プロジェクト22」—宮城県図書館活用推進事業—

平成16年度にスタートしたプロジェクトで,図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに,図書館資料,施設を活用して各種の行事を企画,運営するものです。

21年度は6つのグループ(5グループと個人1)で,企画した計画を実施しました。

	テーマ	内 容
A	Web 予約導入	予約サービス部門における改善を図るため,Web予約サービス導入に関する課題の整理・規程の改正案・導入時の職員マニュアル・問い合わせ対応の準備・システムの表示の詳細などについて検討し,実現を図りました。
B	レファレンス事例マニュアル作成	日常業務で「よく質問される事例」を取り上げ,マニュアル(「細かいところですが覚えておいてください。(第1~53号)」)を作成 職員に配布し,利用者に迅速,確実に情報提供できるようにしました。
C	レファレンス事例公開プラットフォーム構築	「レファレンス事例集」(紙媒体)をWebで公開するための基盤(プラットフォーム)として「標準的なワークフロー」「事例作成のためのガイドライン」を作成し,職員研修を行いました。
D	叡智の杜 Webメタデータ作成 (PORTA用)	本館貴重資料公開サイト「叡智の杜Web」のより一層の利用拡大を目指して,国立国会図書館ポータルサイト(PORTA)と連携させるために必要な「メタデータ」を作成,平成21年9月から同時公開を実現しました。
E	特別展の企画「THE MANGA」と上映会連動展示	「漫画」から「MANGA」へ移行していく過程を,本館で所蔵している宮城県出身の漫画家の作品を年代順に並べることにより表現し,多くの漫画家を生み出した宮城の魅力を再発見していただくことを目的とした展示を行いました。 上映会連動展示については,5月4日以降の43回の上映会について関連した資料の展示を各フロアで実施しました。
F	特別展「立版古」展の企画	江戸時代中期から大正ごろまで制作されたおもちゃ絵の一種「立版古」。本館が所蔵する立版古とともに実際に職員が制作した完成品・現代のペーパークラフトに関する資料なども展示し,日本の立体的な紙のおもちゃの世界を紹介しました。

「プロジェクト22」における取り組みは,県民の図書館理解を促す機会となりましたが,同時に職員の意識向上,組織の活性化を図る好機ともなりました。

・特別事業「館長講座」

「ヤマトの進出とエミシの抵抗からみちのくの歴史再発見」と題して3回にわたり講演しました。

回	日 時	内 容	参加人数
1	7月25日(土) (13:30~15:00)	「アテルイ(阿弋流為)とは何者?」 ヤマトの統治に抵抗したエミシの首領であるアテルイの実像は,これまで示された古代歴史の解説や小説ではあいまいであり,中には想像だけが先走って奇をてらったとしか思えないものも出回っている。 宮城県北から岩手県南にかけて残る言い伝えなどに基づき,馬飼いであったことを手がかりとして,新たな角度からその実像に迫る。	89人
2	8月29日(土) (13:30~15:00)	「モウレ(母礼)とは何者?」 アテルイの盟友であるモウレについては,アテルイ以上にあいまいであった。日高見の国に關係する船師であったことを手がかりとして,新たな角度からその実像に迫る。	63人
3	9月26日(土) (13:30~15:00)	「北方進出を急ぐヤマトの意図は何?」 ヤマトによる征夷政策は,その時々で力の入れ方がまったく違っている。 当時の朝鮮半島情勢や遷都政策との関係を手がかりとして,新たな角度からその実体にも迫る。	64人

・「みやぎ県民大学開放講座」

平成21年度の「みやぎ県民大学開放講座」（全5講座）は本館職員（個人）が担当し実施しました。

（職員個人4人と顧問1人による自主企画事業）

回	日時	内 容	参加人数
1	11月7日 (土)	大和田 順子「辞書の面白さ 再発見」 身近にありながら、じっくり「読む」ことが少ない辞書について、本館所蔵の辞書を利用し、いろいろな角度からその面白さ、奥深さを検証しました。	38人
2	11月14日 (土)	洞口 薫子「太宰と歩く魯迅の仙台」 魯迅の仙台留学時代をモデルにした『惜別』を執筆するため、太宰治が来仙しました。その際の取材メモや関係者の随筆をもとに、明治42年・魯迅留学時の仙台と昭和19年・太宰来仙時の仙台を、郷土資料室の所蔵の絵はがきや地図、逐次刊行物所蔵の新聞記事を利用して紹介しました。	44人
3	11月21日 (土)	内馬場 みち子「『環海異聞』の物語」 仙台藩蘭学者・大槻玄沢が編纂した漂流記『環海異聞』を取り上げ、暴風雨でロシアに漂着した仙台藩水夫らの足跡と彼らが見聞した18世紀末の西欧文化等を読み解きました。また、水夫の出身地（東松島市）に伝わる遺品や碑などを紹介しました。本館所蔵『環海異聞』（伊達文庫）は県指定有形文化財。	52人
4	11月28日 (土)	阿部 毅「宮城県内の災害と地域復興の記録」 戦後宮城県内を襲った顕著な災害の記録をさぐり、その後の地域復興の様子にスポットをあて紹介しました。	28人
5	12月5日 (土)	伊達 宗弘「日本の国のかたち」－歴史や文化の基層を訪ねて－ 1,000年以上前から女性が活躍し、庶民が創りあげた文化を持つ世界で唯一の国日本を育んだ、歴史と文化の基層について述べました。	41人

③ 利用しやすい図書館への工夫

a 情報発信の推進

・インターネットによる資料の予約

居住地域によらず県民一律のサービス拡充のため、特に予約サービス部門において改善を図るために、インターネットに接続されたパソコン、携帯端末、館内蔵書検索端末から貸出中の図書資料等への予約申込ができる「Web予約サービス」を22年3月から導入しました。開始1か月で500名を超える登録がありました。

・新着図書案内

新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け掲示し紹介しました。

新たに受け入れた本の目録（「新刊図書等のご案内」）を作成し紹介するとともに、ホームページにも掲載しました。（年間40回）

号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った児童図書を紹介しました。同じくホームページに掲載しました。

・「私の1冊」展示

毎月、職員による本の紹介（「私の一冊」（年間12回））をしました。利用者の利便性の向上、さらには職員の資料に対する一層の意識の向上につながりました。

期 間	テーマ
平成21年 4月 1日 ～ 5月 5日	「光とともに」 特別支援教育関係
平成21年 5月 6日 ～ 5月31日	プロ野球について関連本
平成21年 6月 2日 ～ 7月 6日	「和田 誠」の本
平成21年 7月 7日 ～ 8月 3日	アタゴオル ますむら・ひろし詩画集
平成21年 8月 4日 ～ 9月 7日	一人暮らしを楽しむ 永井荷風の世界
平成21年 9月 8日 ～10月 5日	「自伝」で生きる 「殴られ屋」
平成21年10月 6日 ～11月 2日	「ソフトボール」の本
平成21年11月 3日 ～12月 7日	知られざる天皇・皇族 ～素顔の天皇たち
平成21年12月 8日 ～12月18日	重 源
平成22年 1月 5日 ～ 1月29日	私は関ヶ原から
平成22年 2月11日 ～ 2月28日	文盲 アゴタ・クリストフ自伝
平成22年 3月 2日 ～ 3月31日	お気に入りの「自助具」を探す

・特設コーナーの設置

テーマ別コーナーを設置し、時の話題や季節などに合わせた展示を実施しました。

3階 一般図書コーナー

期 間	テーマ ・ 紹介資料
平成21年 5月14日～ 7月 9日	宮城県ゆかりの文学作品 宮城県にゆかりの深い作家の作品や県内が舞台となった作品を展示
平成21年 7月10日～ 9月10日	夏を楽しむ 「花火」「海」「昆虫」「野外での遊び」など夏にまつわる事柄に関する本を展示
平成21年 9月11日～ 11月12日	次は何を読む 「読書の秋」にちなみ、借りる本を選ぶ際の参考となるブックガイド、書評集、著名人の本棚を紹介した本アンソロジーなどを展示
平成21年10月 1日～ 10月31日	棄損・汚損本の展示 図書館マナーアップキャンペーン期間にちなみ、本を大切に扱うために棄損・汚損本を展示
平成21年11月13日～ 22年 1月 7日	惜別 2009年に他界された方の著作と関連する本を展示
平成22年1月22日～ 3月11日	この作家を読む「藤沢 周平」 国民読書年にちなみ、小説家藤沢周平の著作と関連する本を展示
平成22年 3月12日～ 5月31日	人と人との『絆』をはぐくむ 出会いの季節にちなみ、コミュニケーション関連の本を展示

2階 子ども図書室特集コーナー

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	雨とカエル
7	星と海	8	おばけ	9	たべもの
10	スポーツ	11	のりもの	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり	3	はる

1階 視聴覚資料展示コーナー

期 間	テーマ
平成21年 4月 1日 ～ 7月31日	シェイクスピア特集
平成21年 8月 1日 ～ 11月31日	フォルクローレ特集
平成21年12月 1日～22年4月23日	宮城県ゆかりの音楽

・県内施設への視聴覚資料の提供

学校や社会教育施設への視聴覚資料の提供については、受け入れ側との調整（学校関係でいえば授業内容等の関係で視聴覚資料を童・生徒に見せる時間が取れない等）の問題で、利用促進ができませんでした。

・施設見学の実施

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、幼稚園1、小学校4、中学校3(中高一貫校1を含む)、高等学校6、大学4、一般11の計29団体、延べ665人を受け入れました。

・広報活動の推進

宮城県図書館だより『ことばのうみ』は、第31号から第33号まで、3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布しました。

ホームページについては、逐次情報の更新を行ったほかメールマガジンを毎月発行しました。

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行(128号～139号)しました。号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。

エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」に毎月第2木曜日に職員が出演し、施設の利用案内、主催事業等について広報しました。また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施しました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作し、目の不自由な利用者に貸し出しました。

b 館内表示の工夫

3階一般開架書棚の南側にも配架本の表示を付け、南北両側の通路から配架本が分かるようにしました。

2階児童資料研究室の配架方法を見直し、効率よく出納に対応できるよう整理しました。

1階視聴覚フロアの照明角度を変更し、またフロアマットの一部を明るい色のものに交換するなどして、利用者の視覚的影響を改善しました。

c その他

館内の検索機で検索した資料の出納伝票の文字を大きくし、利用者に資料の状態(利用可能・貸出中)が一目でわかるようにしました。

その他、表示以外で利用者のために次のような環境改善を行いました。

ア 館内エントランスに広報用掲示板を設置し、情報提供しました。

イ 人工肛門保有者・人工膀胱保有者対応のトイレの改造を行い、障がい者への利便性を図りました。

ウ 敷地内散策林の倒木の撤去、駐車場のラインの塗装し直しなど環境整備を行いました。

(2) 情報の拠点としての図書館

① 市町村図書館等への支援・連携・協働

a 図書館資料の協力貸出の推進

・市町村図書館・公民館図書室等への支援

県民の求める資料を、住民に身近な市町村図書館等を通じて提供することにしておりますが市町村図書館等への協力貸出資料は24,562冊で、ほぼ前年度並みでした。ほぼ県下全域のかたに利用されています。

b 図書館間の相互協力体制の充実

・資料の長期保存・分担収集等の検討

資料の長期保存は、限りある収蔵スペースを増加をたどる一方の図書資料をいかに長期にわたり収蔵していくかという図書館共通の課題です。このことについて、公共図書館連絡会議で今後協議していくべき課題であるとの共通認識が得られました。

分担収集については、各館のさまざまな事情もありますので、次のステップとして時間をかけて検討協議していきたいと考えております。

・市町村図書館との情報共有

市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回(5月と11月)開催しました。会議では、資料の長期保存の検討の必要性について共通の認識が得られたほか、宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)活用方法等についての協議も行いました。会議のほかに、MY-NETの掲示板を活用し適時の情報交換を行いました。

協力貸出を迅速に進めるため、MY-NETへの加入を推進しておりますが、丸森町立金山図書館、大和町公民館図書室が加わり、参加館は41館(図書館30+公民館11)となりました。各館でのシステム上の改変や設定変更等に迅速な対応ができたことにより順調な運営ができました。

c 図書館の整備・運営に関する助言

・研修会の開催

市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、公共図書館等館長研修会、勤続年数に応じた公共図書館等職員研修会Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び公民館図書室担当職員研修会を開催しました。

なお、公共図書館等職員研修会Ⅰは塩竈市「壺番館」を会場としました。

公共図書館等初任者研修会(前期)
期日：平成21年 5月15日(金) (参加者：57人)

講義1：「図書館はこんなところ」

講師：宮城県図書館 佐尾 博基

講義2：「著作権について」

講師：宮城県図書館 田中 亮

講義3・演習：「分類のしくみ」

講師：宮城県図書館 日野 文都

公民館図書室担当職員研修

期日：平成21年 6月19日(金) (参加者：8人)

講義1：「レファレンスについて」

講師：宮城県図書館 田中 亮

講義2：「県図書館の利用について」

講師：宮城県図書館 高橋 智恵

講義3・演習：「修理について」

講師：宮城県図書館 日野 文都

公共図書館等初任者研修会(後期)

期日：平成21年 8月28日(金) (参加者：40人)

講義・演習1：「児童サービスとは何か」

講師：宮城県図書館 岡本 真澄

講義・演習2：「レファレンスサービスの基礎」

講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎

公共図書館等職員研修会Ⅰ

期日：平成21年10月16日(金) (参加者：23人)

講義1：「著作権制度の概要」

講義2：「著作権制度の各論」

講師：放送大学ICT活用・遠隔教育センター
教授 尾崎 史郎氏

公共図書館等職員研修会Ⅱ

期日：平成21年11月6日（金）（参加者：20人）

講義1：「障がい者サービスの総論」

講義2：「具体的サービスの紹介・改正著作権法の概要」

演習：「ガイドに挑戦」

講師：埼玉県立久喜図書館

主任司書 佐藤 聖一氏

公共図書館等職員研修会Ⅲ

期日：平成21年12月4日（金）（参加者：31人）

講義：「レファレンス・サービス」

講師：青山学院大学 教育人間科学部

教育学科 教授 小田 光宏氏

公共図書館長等研修会

期日：平成22年 2月18日（金）（参加者：29人）

講義：「地方分権事始め－100年の大計を進めるために－」

講師：宮城県図書館長 佐藤 明男

・人材の育成

本館職員が、県内市町村図書館等職員に対する研修会の講師を担当できるよう、日頃から司書職員を中心にOJT研修と自己研鑽を積み資質の向上に努めながら、平成21年度も研修の一部の講師を担当しました。

・巡回相談の実施

市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間2回の巡回をしました。4月には第1回目の巡回相談を実施し、各館の職員体制、重点事業などの最新情報を収集し、10月は市町村図書館の地域内で刊行された資料の取扱いやレファレンス業務の位置づけなどに関する情報交換を行いました。

② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実

a 図書館情報ネットワークシステム（MY-NET）の整備

・宮城県内図書館総合目録（横断検索）

宮城県内図書館総合目録（横断検索）については、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、レファレンスサービスや図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しているほか、一般の利用者にも公開し、資料検索の利便性向上に寄与しています。

市町村で導入する図書館システムは多様なことから、常にシステム更新に関する情報収集を行い、速やかに参加館のシステム更新に対応して、安定運用を図ることができました。

また、総合目録へは県内25館が参加しておりますが、未参加の公共図書館へ参加の働きかけを行った結果、平成22年度に新たに3館が参加することになりました。

これにより総合目録システムはさらに有用なものとなります。このほか、県内の公共図書館が当該年度に受け入れることとした新聞・雑誌購入リストを作成・配布して、各館でレファレンスを実施する際に有用な情報として活用されています。

このように総合目録システム、新聞・雑誌購入リストとも、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しています。

・次期システムの検討

現行の図書館情報ネットワークシステムは、平成19年度に更新し5か年の運用を予定しています。平成24年度に予定している次期システムの更新に向けた検討を、館全体で取り組むための体制の整備を図りました。

b 障がい者サービスの充実

・郵送による貸出・返却サービス

郵送による貸出・返却サービスは、ホームページ等での広報や新規登録時の呼びかけを行い、新たに29人を加え現在531人の登録数となっています。登録者への貸出・返却業務は迅速に処理することができました。

一般図書の新着貸出は、年間432件1,304冊、点字雑誌の貸出利用は51件126冊、朗読テープ、ビデオテープ、CD及びDVD等の郵送貸出数は431件1,383点でした。

・録音図書、字幕・手話付きビデオ資料等の目録整備

録音図書、字幕・音声解説付きビデオ資料等整備に努めました。計画的な整備に努めました。利用促進については、バリアフリー映画の上映を初めて行いPRに努めました。を行いました。

・大活字本の収集

大活字本については、積極的に購入するように努め、21年度は102冊購入しました。

・障がい者サービス担当者の育成

担当班内での職場研修（OJT）や市町村職員対象に実施した研修会（「障がい者サービス」及び「著作権」）への参加などにより、担当者の職務能力の向上に努めました。

・音訳サービス

新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ226人（前年度比48人増）に行いました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作、目の不自由な利用者に貸し出しました。

雑誌の記事を選んで音訳ボランティアに依頼して制作している「声の情報誌」を目の不自由な方に対して貸し出しました。

そのほか、プライベートサービスとして目の不自由な利用者による音訳テープの作成、電話音訳を実施しました。

③ 調査・研究に役立つ機能の充実

a 調査・研究に役立つ資料の収集

課題解決に役立つ県内の施設の紹介

県民が調査・研究に利用できる全国公共図書館や大学図書館など類縁機関の「資料検索ツール」を本館ホームページのトップページで紹介しています。各類縁機関へのリンクを設定し、利用者自身が検索を行い、資料調査、所蔵館情報などにアクセスできる環境を整備しています。

b レファレンス事例の作成・公開

「宮城県図書館におけるレファレンス事例公開事業実施計画」

（平成21年3月策定）に基づき、レファレンス事例について、平成21年4月から本館ホームページ及び国立国会図書館「レファレンス協同データベース」での一般公開を開始しました。本館では隔週2件ずつ更新し計46件を公開しました。国立国会図書館には計208件を登録、公開しました。公開事例の編集にあたっては「レファレンス事例編集ガイドライン（第1版）」を作成して、職員研修を実施しました。

また、利用者の調査依頼に迅速に対応するために、職員向けに資料検索ツールや辞典類の使い方などの解説書『調べ方マニュアル／細かいところですが覚えておいてください（全53号）』を作成し、利用者対応に役立ちました。

(3) 次世代を育成する図書館

① 郷土関係資料の維持・充実

a 宮城に関する資料の収集と整備

・宮城に関する資料の収集

郷土関係資料は主題（テーマ）による収集を計画的に進め、平成21年度は1,308冊を整理し、利用者へ提供しました。

重点テーマとして『セントラル自動車社史』など「自動車産業関係資料」、「地震・津波関係資料」などを収集しました。貴重な郷土の映像資料「宮城県政ニュース」（VHSビデオテープ）をデジタル化（DVD化）する、デジタルアーカイブ事業を継続して行いました。平成21年度までで全64点のデジタルアーカイブを終了しました。今後は、その他の貴重な郷土資料について継続して取り組み、資料の保存・活用に努めてまいります。

・郷土関係論文データベースの充実

「郷土関係論文目録データベース」に目録情報を登録し、ホームページで公開しています。平成21年度は1,318件の目録データを登録し、総データ数2万5千件を超えました。平成21年度緊急雇用創出事業を活用し、『宮城県郷土資料件名標目表』と『同冊子目録』（宮城県図書館 1992年刊）の電子情報化を行いました。

同じく、『宮城県図書館和古書目録』（1991年）、『宮城県図書館所蔵 絵図・地図解説目録』（1993年）など古典籍冊子目録計4冊も電子情報化しました。

b 宮城県の行政資料収集と行政課題に関する情報提供

・行政資料の収集

宮城県に関する行政資料184タイトルを収集し、総タイトル数1,984を整備しています。特に、県内市町村発行の地震災害関係資料や防災関係資料の収集に努めました。

「自動車産業関連資料」として、社史や専門紙等の収集、整備

・県職員向けの情報発信

県庁各担当からの問い合わせには、資料調査を行い、情報提供

② 子どもの読書環境の充実

a 読書環境の整備充実

・新刊児童図書紹介

第39回子どもの本展示会を 4月18日から29日まで開催し、延べ701人の入場者がありました。

開催期間	会場	入場者数
4月18日(土)～29日(水)	ホール養賢堂	延べ 701人

・子どもの本移動展示会(県内市町村図書館向け)の開催

県内公共図書館・公民館図書室への移動展示会を行い、21会場で延べ5,129人の入場者がありました。

・子どもの本移動展示会(県内小学校向け)の開催

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催し、入場者は13,470人ありました。

・児童資料の充実

児童資料については、新刊図書を中心に発達段階や各分野にわたって収集しました。

冊数や心に残る本を記録する「ブックツリーカード」(読書記録カード)を配布しました。

利用者から「おすすめの本1冊」を募集、子ども図書室に紹介紹介をしました。

・児童図書サービス担当者の育成

毎月1回、職員による「読み聞かせ会」を実施し、担当職員の技能向上に努めました。

b 読書活動の理解の促進

・各種事業の実施

おはなし会・紙芝居上演会

「おはなし会」などをボランティアの協力も得て定期的に開催し(88回)、多くの参加があり読書への関心を高めました。図書館へ足を運ぶ契機となり、親子で本に親しむ機会ともなっており、十分な効果が上げられました。

・「子どもの森・本のいずみ」の発行

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行(128号～139号)しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも掲載しました。毎月購入した資料を確認できるため、子どもたちの読書への意欲を喚起できました。

・テーマ展示(再掲)

毎月のテーマを選び、関連する本を展示しました。

子供図書室特集コーナー(テーマ展示)

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	雨とカエル
7	星と海	8	おばけ	9	たべもの
10	スポーツ	11	のりもの	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり	3	はる

・総合的な学習への支援

「調べ学習」や「職場体験」を積極的に受け入れ、図書館資料を効果的に活用させたり、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。

学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校1,高等学校1,延べ11人の利用がありました。

また、「職場体験学習」は、中学校4,高等学校は2,延べ17人の受入をしました。

③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進

22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業について

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、平成16年度より進めている総合戦略プロジェクトです。

「貴重資料修復保存」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門で構成しています。「貴重資料修復保存」は貴重資料の体系的学術調査、修復保存、デジタル画像や複製資料の作成が主な内容です。

「次世代育成プロジェクト」は、図書館の知的財産、人的資源を人材育成に活用しようとするもので、複製資料の高等学校等への貸し出し、貴重資料の展示会、子どもの本展示会、プロジェクト22などが主な内容となっております。

a 図書館の知的財産の活用

・複製資料の貸出

本館貴重資料の複製資料を、県内高等学校、市町村図書館等に貸し出し授業や展示会で活用するものです。

高等学校には4校に貸し出し、米山高等学校、黒川高等学校では文化祭など学校行事で活用され、美里町近代文学館では『魚蟲譜』等レプリカの展示会を開催しました。

貴重資料の複製資料のほか『源氏物語絵巻』『枕草子』等、古典文学複製資料を、平成21年度は富谷高等学校、涌谷高等学校など13校と、塩竈市民図書館など2施設に貸し出しました。

『東海道五十三次』『浮世絵聚花名作選』など、浮世絵の複製資料を、平成21年度は、県立高校では河南高等学校、古川黎明高等学校など2校と石巻市教育委員会に貸し出しました。

・貴重資料の専門調査の実施

平成21年度(第7次調査)は、専門調査員3人により、延べ8日間実施しました。『国絵図』関係資料については2月24日・25日に、専門調査員の佐々木利和氏(前文化庁主任文化財調査官)、川村博忠氏(元山口大学教授)、鶴飼幸子氏(仙台市史編纂室長)による合同調査を実施し、修復事業の進め方、方針、目録作成など今後の進め方について指導を受けました。

・貴重資料の保存修復

平成21年度は「国絵図」の中から『陸奥国仙台領際絵図 出羽国米沢領之方』『同 出羽国新庄領之方』(計2舗)を修復しました。資料的価値を損なうことなく後世に伝えることができました。

古典籍の利用者用代替資料(マイクロフィルム)の劣化に対応するため、再整備事業を実施しました。平成21年度は『奥道中歌』『仙台領古城』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム52本を複製し、7本にまとめて収録しました。これを利用することで適切な資料提供が確保されました。

・企画展示会の開催

特別展としては「地図～世界を規定する試み～」(平成21年3月7日～6月28日)、「THE MANGA～みやぎが生んだヒーローたち～」(平成21年11月19日～平成22年2月27日)及び「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」(平成22年3月13日～平成22年6月30日)の計3回本館展示室で開催しました。

「地図～世界を規定する試み～」では、修復が完了した『遠田郡桃生郡境塚図』と修復前の『陸奥国仙台領際絵図 出羽国米沢領之方』『同 出羽国新庄領之方』(計2舗)を展示しました。

常設展は国・県の文化財指定を受けた貴重資料を「きらめく叡智と美のしずく展」シリーズとして展示しています。平成21年度は第9回目として「宮城の貴重書(レプリカ展)」を本館展示室で7月4日(土)から11月10日(火)まで開催し、17世紀初頭の世界地図『坤輿万国全図』(国指定重要文化財)、江戸博物学の精華と評される『禽譜』(鳥類図鑑・県指定有形文化財)『魚蟲譜』(魚類図鑑・同)のレプリカを展示しました。

特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成21年3月7日(土)～6月28日(日)	「地図～世界を規定する試み～」
2	平成21年11月19日(木)～平成22年2月27日(土)	「THE MANGA～みやぎが生んだヒーローたち～」
3	平成22年3月13日(土)～平成22年6月30日(火)	「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」

常設展

回	開催期間	タイトル
1	平成21年7月4日(土)～10月31日(土)	「きらめく叡智と美のしずくみやぎの貴重書レプリカ展」

・貴重資料のデジタル画像の公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館ホームページ「叡智の杜 Web」でデジタルデータを公開しています。本館「叡智の杜 Web」は平成 21 年 9 月から、国立国会図書館デジタルアーカイブポータル（PORTA）において同時公開を開始しました。

・子どもの本移動展示会（県内市町村図書館・小学校向け）の開催（再掲）

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

平成21年度は、市町村図書館、公民館図書室では計21館で開催され、入場者数は5,129人ありました。

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催、入場者は13,470人ありました。多くの学校から次年度以降も開催を望む声が寄せられています。

b 図書館の人的資源の活用

・『プロジェクト 22』—宮城県図書館活用推進事業—の展開（再掲）

平成16年度にスタートしたプロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。

21年度は6つのグループ（5グループと個人1）で、企画した計画を実施しました。

・特別事業「館長講座」（再掲）

「ヤマトの進出とエミシの抵抗からみたみちのくの歴史再発見」と題して3回にわたり講演しました。

・「みやぎ県民大学開放講座」（再掲）

平成21年度の「みやぎ県民大学開放講座」（全5講座）は本館職員（個人）が担当し実施しました。（職員個人4人と顧問1人による自主企画事業）

・総合的な学習への支援（再掲）

「調べ学習」や「職場体験」を積極的に受け入れ、図書館資料を効果的に活用させたり、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。

学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校1校、高等学校1校、延べ11人の利用がありました。

また、「職場体験学習」は、中学校4校、高等学校は2校、延べ17人の受入をしました。

・施設見学の実施（再掲）

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、幼稚園 1、小学校 4、中学校 3、（中高一貫校1校を含む）高等学校 6、支援学校 1（2回）、大学 3、一般10団体の計29団体に実施しました。平成21年度は、迫桜高等学校の教員と図書委員の生徒計24人、米山高等学校の教員と図書委員計26人ほか、県外からは福島県立会津高等学校図書委員の生徒と教員計18人など29団体、計 665人が閉架書庫などを見学し、本館資料と機能についての理解を深めました。

・「図書館親子ツアー」

「図書館親子ツアー」を夏休み中の子どもたちを対象に 2回実施しました。

回	日 時	内 容	参加人数
1	8 月 6 日（木）	閉架書庫の案内、 所蔵資料の紹介	親子 8 組 〈計 19 人〉
2	8 月 8 日（土）		親子 8 組 〈計 20 人〉

6 平成21年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表

表5-11表 図書・視聴覚資料

(現在高=平成22年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	7,242	1,477	192	8,911	1,154	7,757	667,169
洋書	5	34		39	5	34	17,072
ハンゲル資料		3	774	777		777	2,076
中国書				0	5	-5	5,790
一般図書等 小計	7,247	1,514	966	9,727	1,164	8,563	692,107
貸出用児童書	2,368	60	36	2,464	2,226	238	64,635
保存用児童書	2,387	53	24	2,464	409	2,055	91,791
貸出用紙芝居	5	1		6		6	848
街頭紙芝居				0			5,333
教育紙芝居				0			1,473
児童資料 小計	4,760	114	60	4,934	2,635	2,299	164,080
郷土資料	365	943		1,308	8	1,300	58,485
和古書				0			38,417
漢籍				0			18,886
地図資料				0			9,624
電子図書				0			922
マイクロフィルム	137	2		139			16,836
郷土資料等 小計	502	945	0	1,447	8	1,439	143,170
館外用図書				0			3,590
図書資料小計	12,509	2,573	1,026	16,108	3,807	12,301	1,002,947
16mmフィルム				0			1,683
録画テープ (Uマチック)				0			24
録画テープ (ベータ)				0			30
録画テープ (VHS)			3	3	727	-724	13,552
8mmフィルム				0			18
CD-ROM (主に映像)				0			341
レコード				0			1,320
コンパクトディスク	79	66	2	147	256	-109	16,236
楽譜	33	9	3	45	947	-902	9,791
レーザーディスク				0			950
DVDビデオ	234	55	47	336	6	330	2,682
カセットテープ	34			34	86	-52	4,617
オープンリールテープ				0			773
スライドフィルム				0			1,174
ELIB	9		57	66		66	99
視聴覚資料小計	389	130	112	631	2,022	-1,391	53,290
総計	12,898	2,703	1,138	16,739	5,829	10,910	1,056,237

第5-12表 逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	9,504種	1,672種	390種	1,282種	12種
	みやぎ資料室	2,648種	558種	13種	545種	
	子ども図書室	189種	33種	16種	17種	
	小 計	12,341種	2,263種	419種	1,844種	12種
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,176種	594種	233種	361種	
	子ども図書室	21種	3種	1種	2種	
	小 計	3,197種	597種	234種	363種	
行政資料	新聞雑誌室	2,704種	318種	140種	178種	
	みやぎ資料室	1,984種	184種	2種	182種	
	小 計	4,688種	502種	142種	360種	
新 聞	新聞雑誌室	657種	80種	53種	27種	1種
	みやぎ資料室	198種	9種	0種	9種	
	子ども図書室	4種	1種	1種	0種	
	小 計	859種	90種	54種	36種	1種
計		21,085種	3,452種	849種	2,603種	13種
前年度		19,513種	3,528種	893種	2,635種	20種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

第5-13表

	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成21年 4月	26日	41,032人	1,578人	74,493冊	2,865冊	2,576件
5月	27日	45,366人	1,680人	82,222冊	3,045冊	2,946件
6月	25日	42,851人	1,714人	74,939冊	2,988冊	2,538件
7月	27日	47,980人	1,777人	85,213冊	3,156冊	3,177件
8月	26日	50,969人	1,960人	88,206冊	3,393冊	3,097件
9月	26日	44,558人	1,714人	75,839冊	2,917冊	2,702件
10月	27日	43,192人	1,600人	77,012冊	2,852冊	2,739件
11月	25日	40,614人	1,625人	76,967冊	3,079冊	2,819件
12月	24日	35,822人	1,493人	70,038冊	2,918冊	2,486件
平成22年 1月	21日	37,185人	1,771人	69,078冊	3,289冊	2,869件
2月	16日	27,352人	1,710人	53,520冊	3,345冊	2,278件
3月	26日	39,580人	1,522人	75,548冊	2,906冊	2,993件
合 計	296日	496,501人	1,677人	903,075冊	3,051冊	33,220件
前年度合計	295日	515,369人	1,747人	927,948冊	3,146冊	34,785件
増 減	+1日	-18,868人	-70人	-24,873冊	-95冊	-1,565件

(3) 利用登録者数

第5-14表

	21年3月末現在	22年3月末現在
利用登録者数	243,745人	251,682人
対前年比	+ 8,540人	+ 7,937人
新規登録者数	9,237人	7,991人

*対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

居住市町村別内訳

第5-15表 ○利用登録者数

	平成21年3月末現在		平成22年3月末現在	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比
仙台市	186,269人	76.4%	191,754人	76.2%
(内訳) 青葉区	60,240人	24.7%	61,986人	24.6%
宮城野区	17,760人	7.3%	18,058人	7.2%
若林区	7,796人	3.2%	7,906人	3.1%
太白区	17,115人	7.0%	17,388人	7.0%
泉区	83,358人	34.2%	86,416人	34.3%
富谷町	16,147人	6.6%	17,298人	6.9%
大和町	5,702人	2.3%	5,976人	2.4%
大崎市	5,062人	2.1%	5,250人	2.1%
利府町	4,405人	1.8%	4,579人	1.8%
多賀城市	3,844人	1.6%	3,938人	1.5%
名取市	3,576人	1.5%	3,646人	1.4%
塩竈市	2,686人	1.1%	2,751人	1.1%
その他	16,054人	6.6%	16,490人	6.6%
合計	243,745人	100.0%	251,682人	100.0%

第5-16表 ○個人貸出冊数

	平成20年度		平成21年度	
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	729,734冊	78.6%	705,159冊	78.1%
(内訳) 青葉区	214,552冊	23.1%	204,495冊	22.7%
宮城野区	27,223冊	2.9%	27,734冊	3.1%
若林区	7,767冊	0.8%	7,442冊	0.8%
太白区	20,745冊	2.2%	20,237冊	2.2%
泉区	459,447冊	49.5%	445,251冊	49.3%
富谷町	101,885冊	11.0%	102,976冊	11.4%
大和町	28,335冊	3.1%	30,108冊	3.3%
大崎市	12,875冊	1.4%	12,496冊	1.4%
利府町	11,821冊	1.3%	11,059冊	1.2%
多賀城市	5,459冊	0.6%	4,585冊	0.5%
名取市	4,128冊	0.4%	3,548冊	0.5%
塩竈市	4,024冊	0.4%	4,050冊	0.4%
その他	29,687冊	3.2%	29,094冊	3.2%
合計	927,948冊	100.0%	903,075冊	100.0%

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

第5-17表

	一般図書												外国語資料	郷土資料	児童資料	視覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他							
蔵書冊数	28,312	36,376	75,936	124,328	46,714	45,185	27,946	59,674	12,476	170,604	2,360	24,938	115,788	164,080	53,290	68,230	1,056,237	
構成比*1	2.7%	3.4%	7.2%	11.8%	4.4%	4.3%	2.6%	5.6%	1.2%	16.2%	0.2%	2.4%	11.0%	15.5%	5.0%	6.5%	100.0%	
構成比*2	4.5%	5.8%	12.1%	19.8%	7.4%	7.2%	4.5%	9.5%	2.0%	27.2%							100.0%	
前年度計	27,805	36,063	74,885	122,776	46,033	44,561	27,541	58,916	12,356	168,194	2,698	24,130	115,071	164,377	54,681	65,240	1,045,327	
増減	507	313	1,051	1,552	681	624	405	758	120	2,410	-338	808	717	-297	-1,391	2,990	10,910	
貸出冊数																		
21年4月	676	2,042	3,013	4,652	2,893	3,797	1,666	3,785	693	15,143	6,053	99		15,808	14,173		74,493	
5月	674	2,201	3,101	5,130	3,236	4,168	1,989	4,372	783	16,593	6,897	109		17,420	15,549		82,222	
6月	664	2,120	2,919	4,542	2,970	3,814	1,819	3,899	651	14,847	6,135	112		16,372	14,075		74,939	
7月	665	2,140	3,369	4,982	3,331	4,180	1,772	4,271	712	16,111	7,012	120		21,966	14,582		85,213	
8月	684	2,083	3,508	5,085	3,480	4,079	1,761	4,287	687	16,709	7,160	86		23,736	14,861		88,206	
9月	625	2,086	3,096	4,663	2,960	3,781	1,572	3,815	686	15,134	6,785	108		16,733	13,795		75,839	
10月	740	2,248	3,177	4,526	2,752	3,840	1,619	4,098	637	15,508	6,458	190		17,471	13,748		77,012	
11月	649	2,078	3,110	4,651	2,842	3,781	1,574	3,755	646	15,197	6,540	172		18,131	13,841		76,967	
12月	634	1,937	2,809	4,542	2,624	3,543	1,505	3,505	538	14,614	5,817	143		15,269	12,558		70,038	
22年1月	602	1,967	2,947	4,360	2,666	3,443	1,413	3,498	540	14,121	5,783	162		15,329	12,247		69,078	
2月	404	1,451	2,209	3,109	1,956	2,604	1,100	2,630	419	10,895	4,484	140		12,673	9,446		53,520	
3月	631	2,155	3,363	4,305	2,730	3,657	1,567	3,808	645	15,491	6,279	150		17,317	13,450		75,548	
年度計	7,648	24,508	36,621	54,547	34,440	44,687	19,357	45,723	7,637	180,363	75,403	1,591	-	208,225	162,325	-	903,075	
構成比*1	0.8%	2.7%	4.1%	6.0%	3.8%	4.9%	2.1%	5.1%	0.8%	20.0%	8.3%	0.2%		23.1%	18.0%		100.0%	
構成比*2	1.7%	5.4%	8.0%	12.0%	7.6%	9.8%	4.2%	10.0%	1.7%	39.6%							100.0%	
前年度計	8,645	26,112	39,268	60,021	35,665	48,268	19,943	47,941	8,200	180,962	65,269	1,263	-	211,524	174,867	-	927,948	
増減	-997	-1,604	-2,647	-5,474	-1,225	-3,581	-586	-2,218	-563	-599	10,134	328		-3,299	-12,542		-24,873	

構成比*1：対総数での構成比を算出したもの

構成比*2：一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

(5) 古書閲覧及び特別利用

第5-18表

	閲覧利用	特別利用								計	
		特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾		
21年 4月	利用件数	10件	1件			4件					5件
	利用冊数	44冊	1冊			4冊					5冊
5月	利用件数	5件	2件			4件	1件				7件
	利用冊数	20冊	3冊			7冊	1冊				11冊
6月	利用件数	6件	1件	1件		1件					3件
	利用冊数	23冊	8冊	163冊		1冊					172冊
7月	利用件数	4件	3件	2件		5件					10件
	利用冊数	8冊	8冊	7冊		10冊					25冊
8月	利用件数	7件							2件		2件
	利用冊数	295冊							11冊		11冊
9月	利用件数	7件							1件		1件
	利用冊数	115冊							1冊		1冊
10月	利用件数	6件	9件			10件					19件
	利用冊数	120冊	34冊			14冊					48冊
11月	利用件数	12件				3件			2件		5件
	利用冊数	674冊				3冊			2冊		5冊
12月	利用件数	4件	11件			25件	1件		3件		40件
	利用冊数	12冊	19冊			29冊	1冊		3冊		52冊
22年 1月	利用件数	5件	2件	2件		10件					14件
	利用冊数	24冊	2冊	30冊		10冊					42冊
2月	利用件数	4件	1件			16件					17件
	利用冊数	6冊	6冊			18冊					24冊
3月	利用件数	6件	2件	2件		7件			2件		13件
	利用冊数	47冊	2冊	2冊		9冊			2冊		15冊
計	利用件数	76件	32件	7件	0件	85件	2件	0件	10件	0件	136件
	利用冊数	1,388冊	83冊	202冊	0冊	105冊	2冊	0冊	19冊	0冊	411冊
前年度計	利用件数	256件	16件	9件	0件	58件	0件	0件	7件	0件	90件
	利用冊数	2,488冊	379冊	242冊	0冊	280冊	0冊	0冊	9冊	0冊	910冊

(6) 調査相談の利用

第5-19表

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
21年 4月	281件	8件	9件	2,278件	0件	2,576件
5月	301件	3件	13件	2,629件	0件	2,946件
6月	292件	11件	8件	2,227件	0件	2,538件
7月	258件	17件	14件	2,888件	0件	3,177件
8月	272件	19件	12件	2,794件	0件	3,097件
9月	279件	18件	14件	2,391件	0件	2,702件
10月	282件	18件	15件	2,424件	0件	2,739件
11月	260件	7件	15件	2,537件	0件	2,819件
12月	240件	8件	19件	2,219件	0件	2,486件
22年 1月	232件	7件	12件	2,618件	0件	2,869件
2月	191件	4件	21件	2,061件	1件	2,278件
3月	251件	6件	17件	2,719件	0件	2,993件
計	3,139件	126件	169件	29,785件	1件	33,220件
前年度計	3,596件	124件	245件	30,799件	21件	34,785件

(7) 文献複写の利用

○種類別枚数

第5-20表

種別	枚数
電子複写	白黒 134,497 (144,153)
	カラー 505 (410)
マイクロフィルム	28,460 (12,544)
写真撮影	1,533 (15,262)
計	164,995 (172,369)
月平均	13,750 (14,364)

○受付窓口別枚数

第5-21表

種別	枚数
一般図書 カウンター	18,751 (22,724)
調査相談 カウンター	19,561 (21,033)
新聞雑誌室	64,693 (52,077)
みやぎ資料室	60,457 (61,273)
計	163,462 (157,107)

() は前年度

(8) 図書館間の相互協力

第5-22表 協力貸出冊数

図書館名	20年度	21年度
仙台市民	1,137冊	857冊
仙台市広瀬	178冊	146冊
仙台市宮城野	343冊	291冊
仙台市榴岡	178冊	202冊
仙台市若林	372冊	328冊
仙台市太白	729冊	582冊
仙台市泉	429冊	594冊
石巻市	738冊	839冊
塩竈市	706冊	593冊
気仙沼市	485冊	470冊
本吉町	295冊	260冊
白石市	382冊	622冊
名取市	1,299冊	1,129冊
角田市	536冊	678冊
多賀城市	1,095冊	931冊
岩沼市	456冊	555冊
登米市迫	562冊	748冊
登米市登米	154冊	162冊

図書館名	20年度	21年度
栗原市	1,051冊	837冊
東松島市	432冊	544冊
大崎市	1,164冊	981冊
蔵王町	945冊	905冊
丸森町	73冊	33冊
亶理町	646冊	612冊
利府町	1,014冊	975冊
加美町中新田	395冊	364冊
加美町小野田	567冊	752冊
美里町小牛田	1,564冊	1,371冊
美里町南郷	286冊	152冊
南三陸町	548冊	380冊
小計	18,759冊	17,893冊
公民館図書室等	5,871冊	6,669冊
県外図書館等	1,388冊	1,172冊
合計	26,018冊	25,734冊

第5-23表 協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	20年度	21年度
北海道	176冊	305冊
青森	118冊	112冊
岩手	124冊	194冊
秋田	54冊	92冊
山形	304冊	132冊
福島	153冊	87冊
茨城	10冊	11冊
栃木	7冊	4冊
群馬	3冊	8冊
埼玉	26冊	25冊
千葉	26冊	32冊
東京	22冊	9冊
神奈川	4冊	8冊
新潟	10冊	17冊
山梨	2冊	3冊
長野	3冊	0冊
静岡	8冊	6冊
富山	3冊	5冊
石川	4冊	1冊
福井	5冊	1冊
岐阜	1冊	1冊
愛知	25冊	19冊
三重	179冊	27冊

都道府県	20年度	21年度
滋賀	9冊	10冊
京都	11冊	9冊
大阪	5冊	13冊
兵庫	2冊	3冊
奈良	4冊	2冊
和歌山	2冊	0冊
鳥取	4冊	3冊
島根	2冊	0冊
岡山	37冊	7冊
広島	2冊	1冊
山口	3冊	0冊
徳島	2冊	0冊
香川	13冊	2冊
愛媛	6冊	5冊
高知	5冊	0冊
福岡	3冊	2冊
佐賀	3冊	1冊
長崎	0冊	11冊
熊本	2冊	0冊
大分	2冊	0冊
宮崎	3冊	2冊
鹿児島	0冊	0冊
沖縄	1冊	2冊
計	1,388冊	1,172冊

第5-24表 月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			貸受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
21年 4月	2,068冊	108冊	2,176冊	63冊	13冊	4冊	80冊	6件	30件	36件	0件	10件	9件	19件	15件	5件	20件
5月	1,953冊	111冊	2,064冊	39冊	4冊	0冊	43冊	1件	25件	26件	0件	1件	11件	12件	10件	8件	18件
6月	2,061冊	96冊	2,157冊	0冊	19冊	0冊	19冊	0件	8件	8件	1件	3件	31件	35件	11件	5件	16件
7月	2,140冊	109冊	2,249冊	66冊	17冊	0冊	83冊	1件	13件	14件	0件	4件	41件	45件	10件	3件	13件
8月	1,902冊	75冊	1,977冊	71冊	22冊	3冊	96冊	2件	26件	28件	0件	7件	130件	137件	11件	5件	16件
9月	2,128冊	84冊	2,212冊	66冊	25冊	1冊	92冊	41件	12件	53件	0件	0件	13件	13件	9件	2件	11件
10月	2,317冊	108冊	2,425冊	91冊	22冊	2冊	115冊	3件	24件	27件	0件	6件	29件	35件	4件	3件	7件
11月	1,922冊	147冊	2,069冊	73冊	10冊	0冊	83冊	11件	32件	33件	0件	0件	10件	10件	8件	4件	12件
12月	1,982冊	63冊	2,045冊	60冊	9冊	0冊	69冊	0件	14件	14件	0件	2件	5件	7件	2件	3件	5件
22年 1月	2,236冊	82冊	2,318冊	45冊	5冊	0冊	50冊	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	4件	4件	8件
2月	2,006冊	93冊	2,099冊	70冊	14冊	2冊	86冊	0件	13件	13件	0件	0件	0件	0件	5件	1件	6件
3月	1,847冊	96冊	1,943冊	106冊	12冊	0冊	118冊	10件	48件	58件	2件	0件	4件	6件	4件	1件	5件
計	24,562冊	1,172冊	25,734冊	750冊	172冊	12冊	934冊	65件	245件	310件	3件	33件	284件	320件	93件	44件	137件
前年度計	24,630冊	1,388冊	26,018冊	815冊	170冊	26冊	1,011冊	81件	256件	337件	12件	46件	201件	259件	162件	51件	213件

第5-25表 貸出依頼件数

		平成20年度	平成21年度	平成21年度の内訳	
				県内分	県外分
処理状況	貸出依頼件数	26,376件	26,024件	24,844件	1,180件
	所蔵件数	25,668件	25,255件	24,083件	1,172件
	購入	350件	479件	479件	0件
	借受・他館紹介等	90件	91件	91件	0件
	提供不可	268件	199件	191件	8件

(9) 障がい者サービス

第5-26表 郵送貸出の利用

	新規登録		郵送貸出資料別										合計
			図書	朗読テープ		デジ版		点字雑誌	ビデオ	CD	DVD	楽譜その他	
21年4月	1人	利用件数	34件	21件		3件		5件	0件	11件	1件	1件	76件
		利用冊数	121冊	29タイトル	89点	1タイトル	3冊	12冊	0点	39点	1点	1点	266点
5月	0人	利用件数	33件	17件		3件		5件	2件	5件	2件	0件	67件
		利用冊数	92冊	17タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	12冊	9点	16点	2点	0点	191点
6月	1人	利用件数	37件	25件		3件		3件	5件	10件	2件	0件	85件
		利用冊数	117冊	32タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	8冊	12点	40点	2点	0点	279点
7月	2人	利用件数	36件	24件		3件		5件	4件	8件	0件	0件	80件
		利用冊数	100冊	34タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	12冊	15点	30点	0点	0点	240点
8月	2人	利用件数	34件	21件		3件		3件	2件	8件	2件	0件	73件
		利用冊数	101冊	24タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	5冊	4点	24点	2点	0点	207点
9月	1人	利用件数	39件	21件		3件		4件	3件	9件	0件	0件	79件
		利用冊数	82冊	25タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	10冊	9点	31点	0点	0点	216点
10月	1人	利用件数	32件	22件		3件		4件	5件	10件	0件	0件	76件
		利用冊数	102冊	30タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	10冊	18点	37点	0点	0点	245点
11月	9人	利用件数	38件	18件		3件		5件	6件	5件	1件	0件	76件
		利用冊数	117冊	24タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	15冊	18点	11点	1点	0点	213点
12月	2人	利用件数	41件	19件		3件		3件	3件	7件	2件	0件	78件
		利用冊数	127冊	24タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	9冊	9点	21点	2点	0点	255点
22年1月	5人	利用件数	35件	17件		3件		5件	5件	5件	0件	0件	70件
		利用冊数	138冊	26タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	11冊	19点	16点	0点	0点	242点
2月	1人	利用件数	25件	18件		3件		5件	4件	11件	2件	0件	68件
		利用冊数	77冊	24タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	12冊	14点	39点	2点	0点	210点
3月	4人	利用件数	48件	20件		3件		4件	3件	8件	0件	0件	86件
		利用冊数	130冊	33タイトル	1タイトル	1タイトル	3冊	10冊	10点	30点	0点	0点	249点
計	29人	利用件数	432件	243件		36件		51件	42件	97件	12件	1件	914件
		利用冊数	1,304冊	322タイトル	1タイトル	1タイトル	36冊	126冊	137点	334点	12点	1点	2,813点
前年度計	22人	利用件数	433件	282件		0件		8件	56件	101件	11件	0件	891件
		利用冊数	1,275冊	282タイトル	1タイトル	0タイトル	0冊	21冊	178点	283点	11点	0点	2,779点

第5-27表 音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス						調査 相談 件数	
		朗読テープの作成		対面朗読		電話音訳			計
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
21年4月	実施件数	4件	4件			5件	17件	30件	64件
	のべ時間	3.5時間	77.0時間			1.5時間	12.2時間	94.2時間	
5月	実施件数	2件	5件			5件	12件	32件	52件
	のべ時間	7.0時間	49.0時間			4.6時間	6.8時間	67.4時間	
6月	実施件数	3件	5件			5件	15件	28件	56件
	のべ時間	7.0時間	69.0時間			2.9時間	10.8時間	89.7時間	
7月	実施件数	4件	5件			5件	17件	35件	55件
	のべ時間	11.0時間	63.0時間			2.0時間	12.3時間	88.3時間	
8月	実施件数	4件	4件		1件	5件	16件	33件	53件
	のべ時間	11.0時間	73.0時間		6.0時間	1.8時間	11.9時間	103.7時間	
9月	実施件数	4件	4件		1件	5件	16件	29件	49件
	のべ時間	13.0時間	59.0時間		2.0時間	0.8時間	13.4時間	88.2時間	
10月	実施件数	4件	4件			5件	16件	32件	64件
	のべ時間	11.0時間	55.0時間			4.6時間	13.8時間	84.4時間	
11月	実施件数	4件	4件			5件	14件	27件	62件
	のべ時間	9.0時間	27.0時間			1.3時間	11.9時間	49.2時間	
12月	実施件数	5件	6件			5件	14件	30件	52件
	のべ時間	13.0時間	29.0時間			1.3時間	13.9時間	57.2時間	
22年1月	実施件数	6件	6件			5件	14件	32件	57件
	のべ時間	8.0時間	67.0時間			2.0時間	12.9時間	89.9時間	
2月	実施件数	5件	3件			5件	8件	23件	53件
	のべ時間	9.0時間	35.0時間			1.8時間	12.0時間	57.8時間	
3月	実施件数	5件	5件			5件	12件	29件	147件
	のべ時間	13.0時間	47.0時間			2.6時間	12.1時間	74.7時間	
計	実施件数	50件	55件	0件	2件	82件	171件	360件	764件
	のべ時間	115.5時間	650.0時間	0.0時間	8.0時間	27.2時間	144.0時間	944.7時間	
前年度計	実施件数	47件	64件	0件	1件	63件	148件	323件	644件
	のべ時間	83.5時間	292.7時間	0.0時間	2.0時間	22.8時間	117.0時間	518.0時間	

(10) 施設見学状況

第5-28表

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
21年4月	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
5月	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	3	2	7
6月	0	0	1	1	4	96	0	0	0	0	0	0	5	97
7月	1	22	1	30	1	24	1	24	0	0	1	3	4	79
8月	2	30	0	0	3	76	2	49	0	0	0	0	5	106
9月	0	0	1	14	1	59	0	0	0	0	0	0	2	73
10月	0	0	1	10	2	34	0	0	0	0	2	5	5	49
11月	0	0	4	175	1	5	0	0	1	9	2	6	8	195
12月	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	2	4
22年1月	0	0	0	0	3	73	0	0	0	0	0	0	3	73
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	52	9	240	17	373	3	73	2	11	6	17	37	693
前年度計	6	121	19	346	27	532	5	102	7	308	7	25	66	1,332

第7節 宮城県松島自然の家

1 目標

奥松島に位置する広大な敷地と恵まれた自然環境のもと、自然体験・野外活動・スポーツ・研修等とおして県民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成を図る。

2 目標達成のための指針

(1) 特色ある事業の計画と運営

- ① 県民の一人ひとりが、自然体験や野外活動等とおして、豊かで生きがいのある生活を促進するため、精神的な充足感や新たな自己発見ができる企画運営を行う。
- ② 青少年が自然とのふれあいとおして「自ら学ぶ力」や「たくましく生きる力」そして「他を思いやる心」を身につけられる企画運営を行う。
- ③ 休日や余暇を利用した家族やグループが、ふれあいと交流を深めることができる企画運営を行う。
- ④ 特別に支援を要する児童生徒やその家族、関係者等への野外活動体験を推進する。
- ⑤ 地域関係団体との連携による事業を推進するとともに、新たな活動プログラムの開発に努める。

(2) 自然体験・野外活動・スポーツ・研修等の自主的・計画的な実践への効果的な支援

- ① 県民の学習ニーズに対応した快適な野外活動の場の提供と宿泊研修を主体的に進めるための支援を行う。
- ② 「利用者事前打合せ」をおし、十分な情報提供と円滑な利用者調整に努める。
- ③ ゆとりある活動プログラムを企画できるように助言するとともに、実践活動ではきめ細やかな支援に努める。

(3) 利用者が満足できるサービスの実施

- ① 文書や訪問による広報とちらしやリーフレット、ホームページを活用した施設利用の啓発・促進を図る。
- ② 専門性を高めるための職員研修を積極的に進める。
- ③ 常に施設・設備の安全点検を行い、防火防災・安全対策等の危機管理体制の機能向上に努める。

(4) 重点努力目標

- ① 幼児教育（保育所・幼稚園児）のための自然体験活動を推進する。
- ② 主催事業の「ファミリーキャンプ体験版」等において、野外活動と家族間交流活動への興味・関心を高められるような企画運営を行う。
- ③ 特別に支援を要する児童生徒とその家族や関係者の自然体験活動を推進する。
- ④ 各種団体、子ども会や家族、グループ等の自然体験活動を促進する。
- ⑤ 職員の研修活動及び調査研究を推進する。
 - ア 心身にハンディを有する方に対する活動プログラム及び施設設備の充実についての研修
 - イ 利用者へのアンケートの実施と評価、分析
 - ウ 自然体験活動の効果分析及び評価方法の検討
 - エ 体験活動プログラムの研究開発
 - ・年間を通した恒常的プログラム

- ・団体種別、年齢や心身の発達段階に応じたプログラム
- ・所内研修の充実

⑥ 児童生徒に豊かな心と生きる力を育む体験活動を提供するため、学校との連携・融合を図り、体験学習を支援するセカンドスクール事業を推進する。

⑦ その他

- ア 冬期間における利用促進と主催事業の拡充に努める。
- イ より効果的な利用者サービスの在り方を研究する。

(5) 利用団体について

- ① 「指導者または責任者がはっきりしていて、活動計画のもとに利用する団体及びグループ」の方針にのっとり、特に、週休日を利用した家族で気軽に利用できるように努める。
- ② 学校の夏季休業中以外の、日帰り利用の促進を図る。
- ③ 持ち込みテント利用は通年とし、利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。

(6) 利用団体への対応について

- ① 利用団体との事前打合せを十分行い、団体の目的に応えられるよう支援していく。
- ② 標準生活時程表を基本とするが、可能な範囲内で柔軟に対応する。
- ③ 利用団体の自主性を尊重した活動になるよう支援していく。

(7) 活動プログラムについて

- ① 自然体験や自然に親しむ活動のふれあいを通して、連帯感を育てるよう支援していく。
- ② 自然環境を活かした活動プログラムの開発に努める。
- ③ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層のプログラム開発に努める。

3 組織と予算

(1) 職員の構成

所長	—	研修支援班長	<ul style="list-style-type: none"> 事務職員（2） 技師（栄養士）（1） 社会教育主事（4） 	
				計9人

(2) 予算（単位：千円）

項目	金額
管理費	28,780
事業費	1,305
施設設備費	10,013
合計	40,098

(3) 収容人数

キャンプ場（テント） 376人
 宿泊室 96人

4 事業概要

(1) 主催事業

第5-29表

No	事業名	期日	対象及び参加人数	ねらいと内容
1	アウトドアセミナーⅠ 「家族のためのアウトドア入門」	5月23日（土） ～24日（日）	県民一般（家族対象） （17家族、64人）	野外活動及びニュースポーツの体験活動を通して、家族の絆を深めるとともに参加者相互の交流を図り、県民の健康・体力づくりへの関心と意欲を高める。
2	アウトドアセミナーⅡ 「大人のためのアウトドア入門」	6月6日（土） ～7日（日）	県民一般（20歳以上の成人） （10人）	キャンプやアウトドアクッキング等の野外活動を通して、参加者相互の交流を図るとともに、自然に親しみ健康・体力づくりへの関心と意欲を高める
3	アウトドアセミナーⅢ 「アウトドアスキルアップセミナー」	6月20日（土） ～21日（日）	県民一般（18歳以上のアウトドア愛好者） （12人）	野外活動に関する基礎的理論、技能の習得、キャンプ体験を通して、キャンプ技術のスキルアップと野外活動指導者の育成と資質の向上を図る。
4	ファミリーキャンプ体験版	7月4日（土） ～5日（日）	県民一般（家族単位） （44家族、156人）	施設の常設テントに宿泊し、家族でキャンプ生活や釣り、サイクリング、野外炊飯等々を体験することにより、野外活動への関心と意欲を高める。

5	みやぎ子どもアドベンチャー (青少年長期自然体験活動推進事業)	8月2日(日) ～8日(土)	小学5年生～中学3年生 (36名)	「奥松島」の大自然の中で、県内の子どもたちが、共同生活や各種の体験活動を通して交流を深めるとともに、たくましく生き抜く力や自主性・協調性などの育成を図る。(無人島探検、異動キャンプ、野外炊飯、サイクリング、いかだ遊び、漁業体験、塩づくり・火おこし体験、絵はがきづくり、貝殻細工等々)
6	ハートフル潮風	8月22日(土) ～23日(日)	心身に障害のある児童・生徒とその親(小・中・高校生) (20家族, 59人)	心身に障害のある児童生徒が自然散策や野外炊飯などの野外活動を通して、小・中学生と交流を図りながら社会性や忍耐力、創造性を培い、心身の健康増進を図るとともにノーマライゼーション社会を意識させる。
7	アウトドアフェスティバル兼自然の家オープンデー	10月4日(日)	県民一般 (153人)	各種野外活動から自分で選択したものを体験することにより、自然の良さを実感し、健康や体力づくりへの関心と意欲を高める。松島自然の家を広く子どもや家族等に開放し、ハイキング、サイクリング、自然観察、ニュースポーツなどを通して、自然の家への理解と利用の促進を図る。
8	フィッシング入門	10月17日(土) ～18日(日)	小学4年生以上の子供とその親及び成人釣り初心者 (39人)	奥松島の景観を堪能しながら船釣りの楽しさを味わい、親子のふれあいや参加者相互の交流と親睦を深める。
9	親子でチャレンジ	11月7日(土) ～8日(日)	子供とその家族 (17家族 60人)	奥松島の冬の味覚を親子で賞味しながら、海苔づくり、カキむき体験を通して、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。
10	おいSEA! 冬の奥松島	① 12月13日(日) ② 1月17日(日) ③ 2月14日(日)	県民一般 (家族単位、個人参加も可) ①(64人)②(69人)③(77人)	冬の奥松島の海の幸について理解を深め、海苔づくり、塩づくり、海鮮バーベキュー等の活動を通して、交流を深める。
11	MAP体験会	5月19日(火)	社会教育関係者、教員等 (11人)	MAPの基本的な考え方について学習するとともに、実際の体験活動を通してMAPの楽しさを味わう。
12	みやぎ県民大学 秋の奥松島ウォーキング	10月7日(水) ～28日(水)	県民一般 (34人)	奥松島の自然の中でウォーキングやノルディックウォーキングを体験し、心身共にリフレッシュするとともに、健康体力作りを図る。

(2) 利用状況
第5-30表

項目 月	開所日数 (日)	利用日数 (日)	宿泊可能日数 (日)	宿泊利用日数 (日)	利用団体数 (団体)	利用者実数					利用者延人数 (人)	宿泊利用者延人数 (人)	宿泊者延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体数 (団体)	延人数 (人)
						中学生以下 (人)	高校生等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	26	26	21	20	31	594	538	186	598	1,916	2,949	1,903	1,033	14	1046
						1,201	614	267	867	2,949					
5月	27	27	22	21	65	1,725	85	161	723	2,694	4,412	3,122	1,718	20	1,290
						2,808	169	279	1,156	4,412					
6月	25	23	21	20	40	936	176	212	467	1,791	3,340	2,524	1,549	12	816
						2,176	177	395	592	3,340					
7月	27	27	23	22	69	1,990	47	412	802	3,251	6,271	5,472	3,020	10	799
						4,002	100	776	1,393	6,271					
8月	27	27	23	23	88	1,013	134	234	1,368	2,749	5,696	5,200	2,947	14	496
						2,199	266	266	2,840	5,696					
9月	27	27	24	23	75	1,971	13	271	1,296	3,551	6,011	4,208	2,460	17	1,803
						3,758	21	499	1,733	6,011					
10月	27	27	23	20	68	883	129	215	1,187	2,414	3,710	2,396	1,297	39	1,314
						1,502	255	370	1,583	3,710					
11月	19	17	15	4	25	166	40	27	436	669	887	452	218	16	435
						248	57	46	536	887					
12月	24	15	0	0	8	35	74	9	109	227	227	0	0	8	227
						35	74	9	109	227					
1月	24	14	0	0	18	52	223	24	130	429	429	0	0	18	429
						52	223	24	130	429					
2月	24	9	0	0	0	35	73	7	90	205	205	0	0	6	205
						35	73	7	90	205					
3月	24	13	0	0	10	80	36	13	448	577	577	0	0	10	577
						80	36	13	448	577					
累計	301	254	172	153	503	9,400	1,532	1,758	7,206	19,896	34,714	25,277	14,242	184	9,437
						18,096	2,065	3,076	11,477	34,714					

第8節 宮城県蔵王自然の家

1 目標

○教育目標

- (1) 蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、心豊かでたくましく生きる力を備えた少年、即ち、
- ① 自然の美しさに感動し、自然を大切にす少年
 - ② 何事にもくじけない、強い意志と体力を持つ少年
 - ③ 互いに協力し、自ら生活を工夫し、他人を思いやる心を持つ少年の育成に努める。
- (2) 社会教育施設として、広く県民の利用をとおして生涯学習社会の構築に寄与する。

○生活の指標

教育目標の達成を目指し、少年たちの自主的な活動をとおして、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」のこころをはぐくむことを生活指標とする。

(1) 規 律

自然の家の使い方や、自分たちで定めた約束を守り、みんなで楽しい生活をするための、集団生活の仕方を学ぶ。

(2) 協 同

自分たちの仕事に責任を持ち、互いに力を出し合っ一つ一つの活動をなし遂げ、助け合うことの大切さを学ぶ。

(3) 友 愛

協同生活をとおして友達の良さを知り、お互いの存在を認め合うことの大事さに気づき、他人を思いやることの大切さを学ぶ。

(4) 奉 仕

自然の美しさを守るための行動及びスムーズな集団生活ができるよう進んで活動をし、他人のために仕事をするこの楽しさを学ぶ。

2 目標達成のための指針

(1) 教育内容の充実

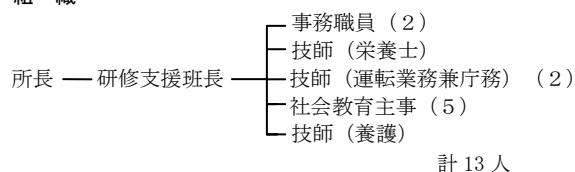
- ① 利用団体の主体的活動を進めるプログラム作成への支援及び学校週5日制への対応を推進する。
- ② 生涯学習社会の観点から、多様な利用に対応できるプログラムの開発やボランティアの養成に努める。
- ③ 魅力ある活動コースを開発・整備し、野外活動の活性化を図る。
- ④ 時代に対応した施設利用のあり方について工夫改善を図る。
- ⑤ セカンドスクールの実施など積極的な学校・社会教育施設及び大学との連携融合を図る。

(2) 広報活動の充実

- ① 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動を積極的に進める。
 - ② 社会教育諸団体及び関係機関との連携を深め、広く情報の提供に努める。
 - ③ 利用者向け「主催事業一覧」や「利用の手引き」等を作成し利用の促進を図る。
- #### (3) 施設・設備の整備、充実
- ① 活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。
 - ② 常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。

3 組織と予算

(1) 組 織



(2) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 運 営 費	39,517
事 業 費	1,753
施 設 整 備 費	9,160
合 計	50,430

(3) 収容人数

宿泊室 254人
 山小屋 120人
 テント 75人

4 事業概要

(1) 主催事業

第5-31表

① 幼児・小・中学生を対象とした事業

No.	事 業 名	期 日	予 定 対 象 者	参 加 者 (人)		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	青少年長期自然体験活動推進事業 (チャレンジin蔵王)	8月1日(土)～7日(金)	小学5年～ 中学3年 60人	60	420	蔵王の大自然の中で、長期間のキャンプ生活や野外活動をとおして、たくましく、主体的・自立的な生活をし、生きる力をはぐくむ。 (MAP活動、川遊び、イワナつかみ、地藏岳・刈田岳トレッキング、野外炊飯、星を見る会、肝試し、乳搾り、バター作り、南蔵王縦走、スコアオリエンテーリング、キャンドルサービス、壁掛けづくり等)
2	ジュニアリーダー上級研修会	12月25日(金)～27日(日)	市町村から推薦 (ジュニアリーダー中級研修会修了者) 100人	29	87	子ども会活動の指導にあたる年少指導者に、子ども会活動に必要な知識・技能・態度等について研修を行う。

② 家族を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者 (人)		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	スプリングファンタジー in蔵王	5月9日(土) ～10日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	120	240	蔵王の自然に親しむと共に、植物観察等を通して、親子の触れ合いや他家族との交流・親睦を図る。
2	サマーアドベンチャー in蔵王	8月15日(土) ～16日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	73	146	蔵王の自然の中で、野外生活に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
3	秋の里山・親子のつどい	10月10日(土) ～11日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	95	190	野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
4	スノーパラダイス in蔵王	2月6日(土) ～7日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	102	204	冬山の美しさにふれながら、雪遊びや歩くスキーを楽しみ、親と子の絆を深めるとともに他家族との交流・親睦を図る。
5	家族のつどい	① 7月11日(土) ～12日(日) ② 10月3日(土) ～4日(日) ③ 1月16日(土) ～17日(日)	家族15組 50人	①43 ②31 ③46	①86 ②62 ③92	蔵王の自然の中で、親子で自然体験活動に親しみ、親子の触れ合いとその絆を深める。 (登山とハイキング、野外炊飯、Eボート体験、沢遊び、自然物を使った創作活動、ニジマスつかみ、芋煮会、レクリエーション大会、雪遊び、アルペンスキー等)

③大学生・社会人・指導者を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者 (人)		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	野外教育施設ボランティア養成講座 ～企画・実践講座～	① 4月25日(土) ～26日(日) ② 10月3日(土) ～4日(日) ③ 1月23日(土) ～24日(日)	大学生・社会人 20人	①14 ②20 ③24	①28 ②40 ③48	蔵王自然の家でのボランティア活動の希望者が、野外活動の基礎的スキルや知識を習得し、利用者への支援が円滑にできるようにする。
2	スキー指導者研修会	① 1月7日(木) ② 1月10日(日)	利用団体活動引率者及び大学生・社会人	① 9 ②21	① 9 ②21	冬季間の自然の家におけるスキー活動の指導希望者および引率者を対象に、児童・生徒へのスキー指導の心構えと指導場所等の確認をし、併せて資質の向上を図る。
3	利用事前研修会	4月3日(金) 4月14日(火) 6月14日(日) 6月30日(火) 11月20日(金) 12月13日(日)	4月利用の学校・各団体 5月～7月12日利用の学校・各団体 7月13日～夏休み8月利用の学校・各団体 8月25日～11月1日利用の学校・各団体 冬利用の学校 冬利用の学校以外の各団体	16 91 75 67 41 25	16 91 75 67 41 25	蔵王自然の家の利用の仕方、活動プログラムの立案、野外活動の指導方法等について研修を深めるとともに、同期日利用団体相互の各種調整を行う。
4	いきいき登山教室	① 8月29日(土) ～30日(日) ② 9月23日(水) ③ 10月18日(日)	50歳以上の方 25人	①20 ②22 ③23	①40 ②22 ③23	登山に関する基礎技術を習得し、蔵王の美しい山々を登山しながら、同好の士と交流し親睦を深める。
5	みやぎアドベンチャープログラム体験会 (MAP体験館)	7月6日(月)	社会教育主事・青少年教育指導者 25人	19	19	社会教育関係者(社会教育主事・青少年教育指導者等)を対象にして、地域の指導者を育成するとともに、「みやぎアドベンチャープログラム」の普及と推進を図る。
6	みやぎアドベンチャープログラム体験会 (MAP講習会II)	8月12日(水) ～14日(金)	社会教育主事・青少年教育指導者 *MAP I 修了者 25人	19	60	MAPの理論を再確認するとともに、グループへの支援体験を通して、児童生徒一人一人が安心して学べる環境を作るための教員の支援の在り方について掘り下げて考える。

7	みやぎアドベンチャープログラム体験会 (MAP講習会Ⅲ)	8月19日(水) ～22日(土)	社会教育主事・青少年教育指導者 *MAPⅡ修了者 25人	19	80	各自の実戦経験を基にグループを支援し合うことで、MAPの理論をより深く理解し、支援者としての技量の向上を図る。
---	---------------------------------	---------------------	------------------------------------	----	----	---

(2) 利用状況

第5-32表

項目 月	開所日数 (日)	利用日数 (日)	宿泊可能日数 (日)	宿泊利用日数 (日)	利用団体数 (団体)	利用者実数					利用者延人数 (人)	宿泊利用者延人数 (人)	宿泊者延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体数 (団体)	延人数 (人)
						中学生以下 (人)	高校生等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	27	21	23	11	31	896	351	101	192	1,540	3,112	2,927	1,572	19	185
						1,754	943	205	210	3,112					
5月	29	29	25	20	74	2,354	4	178	497	3,033	6,104	5,670	3,071	40	434
						4,995	5	394	710	6,104					
6月	27	27	23	21	82	2,805	10	336	431	3,582	7,270	6,670	3,688	36	600
						6,102	12	694	462	7,270					
7月	29	29	25	25	89	2,600	76	391	527	3,594	7,312	6,664	3,718	34	648
						5,412	171	774	955	7,312					
8月	28	28	25	24	70	1,193	88	137	480	1,898	4,020	3,792	2,122	24	228
						2,356	388	249	1,027	4,020					
9月	28	27	26	24	68	3,081	3	332	201	3,617	7,366	7,297	3,749	6	69
						6,246	6	668	446	7,366					
10月	28	26	24	18	36	1,292	2	120	229	1,643	3,612	3,533	1,969	7	79
						2,928	2	279	403	3,612					
11月	25	16	20	6	16	39	4	4	209	256	393	271	137	9	122
						39	4	4	346	393					
12月	24	12	20	3	14	162	26	14	120	322	547	421	225	11	126
						312	78	27	130	547					
1月	25	24	21	16	53	773	6	162	200	1,141	2,587	2,380	1,446	22	207
						1,912	12	360	303	2,587					
2月	24	24	21	19	55	1,257	16	222	230	1,725	3,785	3,633	2,060	12	152
						2,871	32	474	408	3,785					
3月	27	12	23	6	8	62	23	13	27	125	243	236	118	0	7
						121	45	25	52	243					
累計	321	275	276	193	579	16,452	586	1,997	3,316	22,351	46,351	43,494	23,757	220	2,857
						35,048	1,698	4,153	5,452	46,351					

第9節 宮城県志津川自然の家

1 目標

- (1) 「健康・規律・友愛・奉仕」の心を育む自然の家の実現をめざす。
- (2) 施設の果たす役割を十分に認識し、心豊かな実践力のある青少年の育成を図る。
- (3) 研修生とのふれあいを大切にし、研修生自らが積極的に学ぶことができる環境づくりに努める。
- (4) 社会教育施設として、広く県民の利用を通して生涯学習社会の構築に寄与する。

2 目標達成のための指針

- (1) 海洋型自然の家としての特色ある主催事業の推進
 - ア 青少年に活動と交流の場を提供するとともに、長期的な視点に立って、多様化した青少年の学習活動を支援促進する。
 - イ 広く県民に参加を呼びかけ、満足感や自己発見ができる事業を推進する。
 - ウ 志津川湾の恵まれた自然条件のもと、海の魅力にふれ、環境問題等について考える事業を推進する。

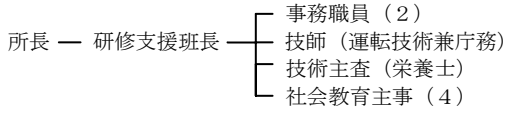
- エ 学校教育との連携を図り、児童生徒の「生きる力」を育む共同宿泊体験事業を推進する。
- オ 海洋型施設を支援するボランティアを育成するとともに、地域の指導者の活用を積極的に図る。
- (2) 研修生の自主的な研修活動に対する効果的な支援
 - ア 事前打合せを綿密に行い、利用者の研修目的に沿った計画の作成を支援する。
 - イ 研修時は、事故防止の徹底を図るとともに、研修効果を高められるように配慮する。
 - ウ 地域との連携を密にし、必要な情報の収集と発信に努め、利用者の多様な活動を支援する。
 - エ 学社融合を推進し、セカンドスクールとしての利用や「総合的な学習の時間」の活動を積極的に支援する。
 - オ 県民の多様な要望に対応できる魅力的で幅広い研修プログラムを研究・開発する。
 - カ MAP（みやぎアドベンチャー・プログラム）の指導者養成に努める。

(3) 利用者の立場に立ったサービスの向上

- ア 研修生には誠意をもって対応し、笑顔をたやさないよう心がける。
- イ H P の充実など広報活動に力を入れ、施設の理解と利用の促進を図る。
- ウ 施設環境の整備に力を注ぐとともに、常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。
- エ 職員研修を積極的に推進し、専門性を生かした研修支援に努める。

3 組織と予算

(1) 職員組織



計 10 人

(2) 予算

項目	金額 (千円)
管理経費	30,074
主催事業費	1,307
施設整備費	2,006
合計	33,387

(3) 収容人数

宿泊定員100人

4 事業概要

(1) 主催事業

第5-33表

No.	事業名	期日	実績	ねらい・主な研修内容
1	MAP体験会	5月29日(水)	社会教育関係者 15人	青少年の健全育成に資するために地域の指導者を育成し、「みやぎアドベンチャープログラム」の普及と推進を図る。 ・MAPとは、アクティビティ体験等
2	ヨット&マリンスポーツ	第1回6月13日(土)~14日(日) 第2回7月11日(土)~12日(日) 第3回9月5日(土)~6日(日)	青年(高校生以上) 1回目 28人 2回目 23人 3回目 20人	ヨットやシーカヤックなどの操作技術を習得し、マリンスポーツを体験することによって、海の魅力や自然の雄大さにふれる。 ・講義(ヨット艦装, 操作, 海の交通規則) ・実技(ヨット艦装, 操作, シーカヤック体験)
3	青少年長期自然体験活動推進事業 (サマー・アドベンチャーIN南三陸)	8月6日(木)~12日(水)	小学5年生~中学3年生 30人	MAPの要素を取り入れた集団での宿泊体験活動により、友だちと協力することの大切さを学ぶとともに、大自然のすばらしさにふれ、心豊かでたくましい児童・生徒の育成を図る。 (無人島探検, いかだづくり, バナナボート, オリエンテーリング, 野外炊飯, 魚市場見学, 海水浴, レクリエーション大会, 軽登山, 魚竜館見学, 洋上めぐり・釣り, 創作活動, キャンプファイアー)等
4	スキューバで海中散歩	8月22日(土)~23日(日)	一般成人 27人	スキューバダイビングで海中の生き物に出会ったりすることにより、マリンスポーツの魅力や自然の雄大さを存分に味わい、海を愛する心を育てる。(スキューバに関する講義, スキューバダイビング体験等)
5	生き生きゆとりライフ① (みやぎ県民大学)	9月22日(土)	一般成人 11人	ニュースポーツに挑戦し、従来にはない種目の特性を理解するとともにその楽しさを味わい、スポーツに親しむ心を育てる。 (グラウンド・ゴルフ)
6	志津川自然の家オープンデー	10月4日(日)	地域住民 171人	地域の方々に自然の家を開放し、様々な活動を体験していただくことにより、自然の家への理解をより深めるとともに利用拡大を図る。 (グラウンド・ゴルフ, オリエンテーリング, 石ころアート, 洋上めぐり等々)
7	オートムIN志津川	10月10日(土)~11日(日)	一般成人 30人	野鳥の森でのキノコや植物の観察, 磯の散策, 海岸での釣り等を通して、自然の素晴らしさや大切さを学び関心を高める。 (里山散策とキノコ採集, 海釣り等)
8	生き生きゆとりライフ② (みやぎ県民大学)	10月24日(土)	一般成人 11人	養殖いかだ(ホヤ, カキ)を見学し、船釣りを体験する。志津川湾が養殖に適した湾であることや地域の水産物の特色を理解したり、釣りをとおして自然の豊かさを感じ取ったりする。
9	海の味覚をさぐる ~魚料理に挑戦~	11月7日(土)~8日(日)	親子 29人	志津川湾の海の幸を親子や仲間と調理し、賞味して、海の恵みの素晴らしさを知る。(イカ燻製作り, カキ・ホタテ剥き体験, シーフードバーベキューと神割崎鍋等)
10	生き生きゆとりライフ③ (みやぎ県民大学)	11月14日(土)	一般成人 11人	海藻を採集し、それを利用してしおり作りをする。おしばなどは違う味わいを楽しみながら、海への関心を高める。
11	親子で星座観察IN志津川	12月12日(土)~13日(日)	親子 39人	冬の夜空を観察し、星座に対する関心を高める。また、星座から無限の宇宙を実感するとともに、豊かな自然を感じる心を育てる。
12	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月25日(金)~27日(日)	ジュニア・リーダー中級取得者 21人	中級研修修了者で、市町村教育委員会の推薦者及び指導者で少年団体活動にかかわっている者を対象に実施し、ジュニア・リーダーとしての資質の向上を図る。
13	南三陸の香り, 味IN志津川	1月9日(土)~10日(日)	一般成人 30人	南三陸の自然, 風土, 歴史そして味にふれることにより、南三陸の良さを知る。(くん製作り, カキ・ホタテむき体験, シーフードバーベキュー, 海鮮鍋等)
14	バードウォッチング入門	2月14日(日) 3月7日(日)	県民 1回目 13人 2回目 22人	野鳥観察をとおして、自然に親しむとともに森を散策することにより健康増進を図る。

(2) 利用状況

第5-34表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊可能 日数 (日)	宿泊利用 日数 (日)	利用 団体数 (団体)	利 用 者 実 数					利用 者延 人数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	26	19	22	15	17	589	316	84	35	1024	2,246	2,182	1,222	2	64
						1,357	632	183	74	2,246					
5月	28	28	24	22	20	993	26	108	96	1,223	2,955	2,927	1,732	2	28
						2,383	78	256	238	2,955					
6月	26	26	23	22	36	1,100	0	140	352	1,592	3,786	3,425	2,194	7	361
						2,986	0	392	408	3,786					
7月	29	29	27	24	41	892	56	154	388	1,490	3,379	3,235	1,889	5	144
						2,188	107	387	697	3,379					
8月	29	28	24	22	33	584	106	118	241	1,049	2,661	2,494	1,612	7	167
						1,570	186	279	626	2,661					
9月	26	26	22	21	36	1,021	47	126	163	1,357	3,309	3,170	1,952	3	139
						2,571	94	331	313	3,309					
10月	27	20	23	12	19	464	0	53	294	811	1,566	1,342	755	4	224
						979	0	120	467	1,566					
11月	25	15	20	7	10	246	8	42	186	482	816	624	334	5	192
						424	14	76	302	816					
12月	24	9	20	5	5	170	51	22	24	267	524	493	257	1	31
						340	93	43	48	524					
1月	21	7	5	3	6	0	63	10	48	121	272	242	151	2	30
						0	167	26	79	272					
2月	20	2	0	0	2	3	0	0	15	18	18	0	0	2	18
						3	0	0	15	18					
3月	22	2	0	0	2	0	0	0	32	32	32	0	0	2	32
						0	0	0	32	32					
累計	303	211	210	153	227	6,062	673	857	1,874	9,466	21,564	20,134	12,098	42	1,430
						14,801	1,371	2,093	3,299	21,564					